

一般国道2号 岩国・大竹道路

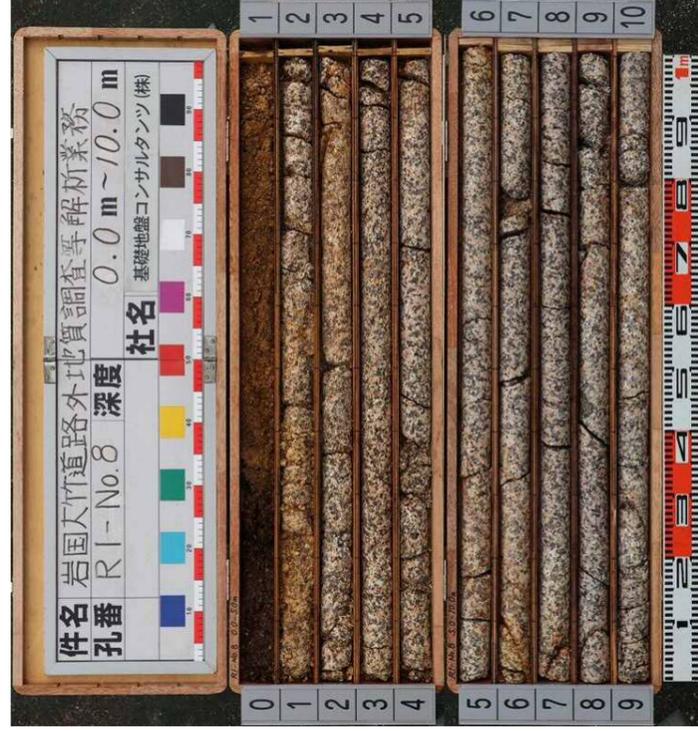
トンネル技術検討委員会

—第1回—

—コア写真・ボーリング柱状図・微動アレイ探査結果—

—都市計画図・空中写真・事業状況写真—

令和3年2月3日



岩盤ボーリング柱状図

調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

ボーリング名	R1-No. 8	調査位置	山口県岩国市室の木町4丁目1		北緯	34° 10' 7.6574"
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	調査期間	2020年 2月 10日 ~ 2020年 2月 12日		東経	132° 12' 29.5693"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技師登録番号: コ鑑定者	地質調査技師登録番号: ボーリング者		
孔口標高	T.P. 27.59m	方位	水平0° 鉛直 90° 36°	試験機	YBM製 YBM-1WA	
総削孔長	10.00m	角度	180° 上下 0°	エンジン	ヤンマーディーゼル TF90V-E	
		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	ポンプ	YBM製 GP-5	

標尺 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬さ	割れ目の形状	岩級	コア採取率 最大コア長 RQD [%]	地質時代名	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験		削孔状況		
													N	深度-N値図	削孔速度 (cm/h)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ビット
1	26.69	素土・シルト混じり砂	素土・シルト混じり砂	黒褐 暗黄	w5	E V d			(100)	新世	地表30cmは草木根多く含む有機質な粘粘土。以深はシルト混じり砂状の産層。 半固結状コアに採取される風化花崗岩。コアは指圧で容易に潰せる。 固結状コアに採取される。岩組織が残存するが風化著しく、指圧で潰せる部分がある。	02/12 4.20	0	11.5 B2	0	0	0
2	26.15			黄褐	w4	IV c			(100)				0	300 B2	1.5	0.2	35
3	25.09			黄灰	w4	D			(100)				0	300 B2	1.5	0.2	35
4	23.20				w2	III			26 [49] (100) 43 [84] (100)	白亜紀	20cm前後~43cmの柱状コアが主体。所々、5cm前後の岩片状コアをなす。白色粘土化している。ハンマー打撃で崩音を発生し容易に割れる。程度までの低角度亀裂が優勢。4.95~5.40m間と5.95~6.20m間は70°の亀裂に沿って褐色化し、岩芯も脆い。	02/12 4.20	2 10	150	0.5	0.1	25
5			花崗岩	乳黄灰	w2	III			28 [75] (100)				2	150	0.5	0.1	25
6				黄灰	w3	IV c			31 [85] (100)				2	150	0.5	0.1	25
7	20.84			乳灰	w2	III			24 [50] (100)				2	150	0.5	0.1	25
8	20.24			黄灰	w3	IV			24 [50] (100)				2	150	0.5	0.1	25
9	19.09			乳灰	w2	III			33 [56] (100)				2	150	0.5	0.1	25
10	18.59			黄灰	w3	IV							2	150	0.5	0.1	25
11	17.59			乳灰	w2	III							2	150	0.5	0.1	25



ボーリング柱状図

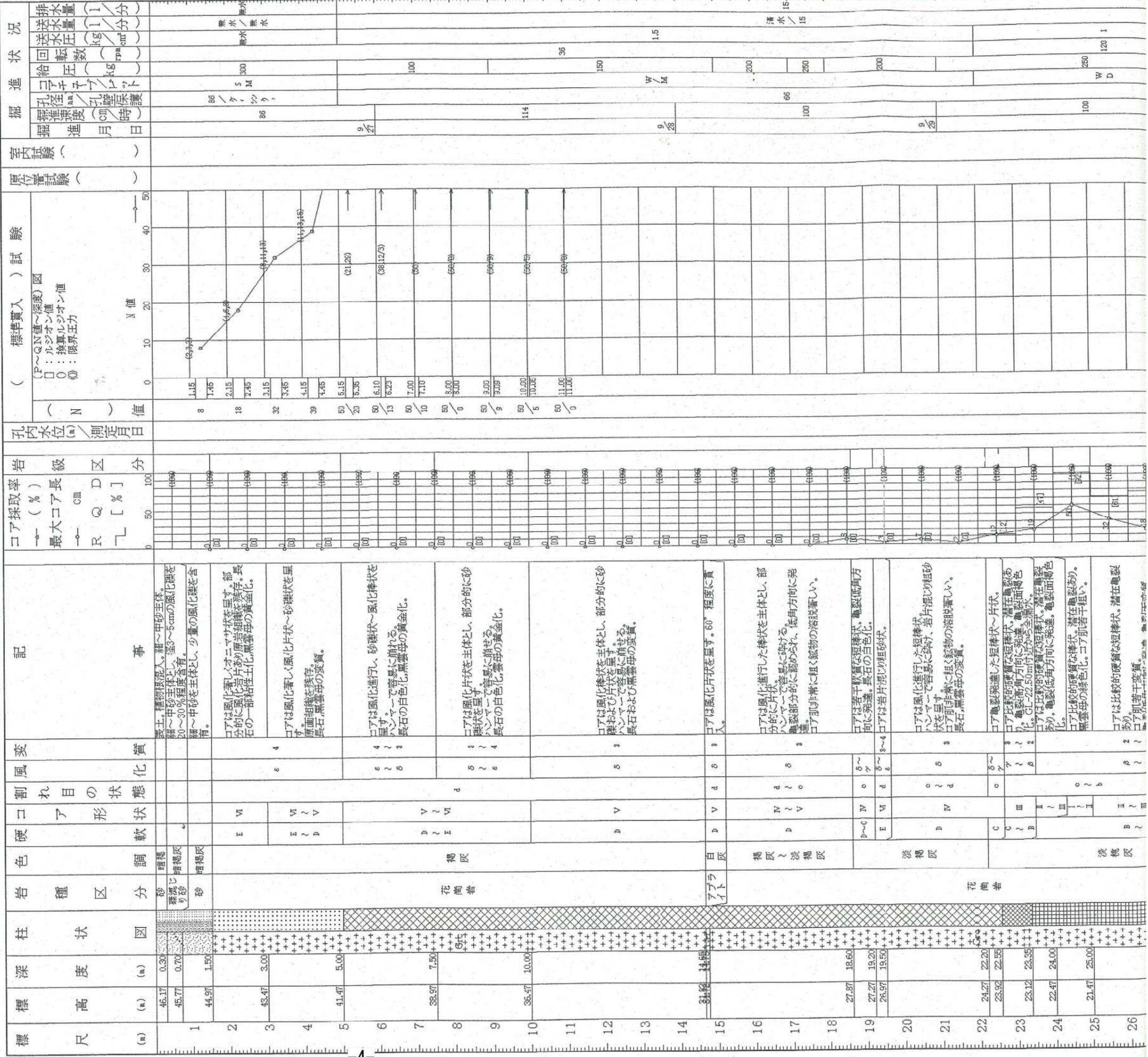
調査名 岩国地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	B No. 5		調査位置	山口県岩国市室の木四丁目 (No. 90 + 20.00R - 11.00)		緯度	34° 9' 55.4"	
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口工事事務所		調査期間	13年 9月 25日 ~ 13年 10月 2日		東経	132° 12' 37.4"	
調査業者名	(株) 荒谷建設コンサルタンツ 電話 (082-292-5481)		主任技師	コニシ 阿		ボーリング責任者		
孔口標高	GH=46.47m		地盤勾配	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°		試験機	東邦地下工機製 D1-B58	
総掘進長	29.00m		使用機種	鉛直 90° 31° 水平		エンジン	ヤンマー NFD-12 ポンプ 東邦地下工機製 BG-3B	



ボーリング名	B No. 5		調査位置	山口県岩国市室の木四丁目(No.90+20.00R-11.00)		北緯	34° 9' 55.4"	
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口工事事務所		調査期間	13年 9月 25日 ~ 13年 10月 2日		東経	132° 12' 37.4"	
調査業者名	(株) 荒谷建設コンサルタンツ 電話(082-292-5481)		現場代理人	アアコ鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	GH=46.47m		地盤勾配	水平 0°		東邦地下工機製D1-B58		
総掘進長	29.00m		方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		ヤンマーNFD-12 ポンプ		
			角度	上 0° 下 0°		東邦地下工機製BGC-3B		

標尺	高度 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験	原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況
1	46.17	0.30	砂	砂	暗褐色	暗褐色				硬土、植物根混入。細~中砂主体。細~中砂主体とし、径3~5cmの風化礫を20~30%程度含有。	0	(100)		8	1.15		無水 / 無水	
2	45.77	0.70	砂	砂	暗褐色	E	VI		4	コアは風化著しい。オニマサカを呈す。部分的に風化片が厚層状を呈す。長石の一部粘土化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		18	2.15		無水 / 無水	
3	44.97	1.50	砂	砂	暗褐色	E	VI		4	コアは風化著しい。風化片状~砂礫状を呈す。原相組織を残留。長石、黒雲母の変質。	0	(100)		32	3.15		無水 / 無水	
4	43.47	3.00	砂	砂	暗褐色	E	VI		4	コアは風化著しい。風化片状~砂礫状を呈す。原相組織を残留。長石、黒雲母の変質。	0	(100)		39	4.15		無水 / 無水	
5	41.47	5.00	砂	砂	暗褐色	E	VI		4	コアは風化著しい。風化片状~砂礫状を呈す。原相組織を残留。長石、黒雲母の変質。	0	(100)		51	5.15		無水 / 無水	
6	38.97	7.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化進行し、砂礫状~風化礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		51	5.15		無水 / 無水	
7	36.47	10.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
8	34.97	11.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
9	33.47	13.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
10	31.97	14.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
11	30.47	16.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
12	28.97	17.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
13	27.47	19.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
14	25.97	20.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
15	24.47	22.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
16	22.97	23.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
17	21.47	25.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
18	19.97	26.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
19	18.47	28.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
20	16.97	29.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
21	15.47	31.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
22	13.97	32.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
23	12.47	34.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
24	10.97	35.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
25	9.47	37.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
26	7.97	38.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
27	6.47	40.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
28	4.97	41.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
29	3.47	43.00	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	
30	1.97	44.50	花崗岩	花崗岩	褐色	D	V		4	コアは風化片状を主体とし、部分的に砂礫状を呈す。ハンマーで容易に砕ける。長石の白色化、黒雲母の黄酸化。	0	(100)		60	6.10		無水 / 無水	



ボーリング柱状図

調査名 岩国地区地質調査業務

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	B No. 6		調査位置	山口県岩国市室の木四丁目(No.90+20.00L-11.00)		北緯	34° 9' 55.4"	
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口工事事務所		調査期間	13年 9月 25日 ~ 13年 10月 1日		東経	132° 12' 38.9"	
調査業者名	(株)荒谷建設コンサルタンツ 電話(082-292-5481)		現場代理人	コ鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	GH=31.76m		主任技師	ア		東邦地下工機製DI-B58		
総掘進長	14.00m		使用機種	ヤンマーNFD-12		ポンプ		
			地盤勾配	水平0°		東邦地下工機製BG-3B		

シートNo

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験		掘進状況										
												(N) 値	N 値	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	孔壁保護	コア子 (mm)	給圧 (kg)	回転数 (rpm)	回送水量 (l/分)	送水圧 (kg/cm ²)	排水量 (l/分)	
1	30.76	1.00	砂	暗褐				表土。細〜粗砂で構成され全体的に植物根混入。GL-0.20m間では木根混入。																
2				淡褐灰	D	δ	3	コアは風化著しい棒状。ハンマーで容易に崩れる。構品するとオオナサ状〜風化片状を呈す。																
3					E	d	4	コアは風化進行した短棒状を呈す。ハンマーで打診すると容易に崩れる。長石、雲母は若干変質し、長石は白色化、黒雲母は一部黄金化。																
4	27.76	4.00																						
5																								
6			花崗岩	淡橙灰	D	d	3	コアは風化進行し若干軟質な短棒状、部分的に硬質部が残存。一部の長石、雲母の若干の変質。ハンマーで容易に砕ける。																
7					V	c																		
8	23.76	8.00			III	c		コアは風化進行し比較的軟質な短棒状、部分的に硬質部が残存。一部の長石、雲母の若干の変質。ハンマーで容易に砕ける。																
9	22.81	8.95			IV	d																		
10	21.56	10.20		桃灰	III	c	3	コアは風化進行し若干軟質な短棒状、亀裂低角方向に発達。亀裂面若干軟質。長石、黒雲母の若干の変質。																
11				桃灰、橙灰、白灰	III	c	2	コアは若干風化するが比較的硬質な棒状を呈す。コア肌若干粗く、長石、黒雲母の変質が認められる。ハンマーで比較的容易に割れそうである。																
12	19.86	11.90		白灰	III	b	2	コアは硬質な短棒状〜片状。60°前後に貫入。亀裂面褐色化。																
13	18.96	12.80		桃灰	II	c	2	コアは若干風化進行するが比較的硬質な短棒状。長石部分的に粘状土化。GL-13.40~13.70m間は棒状を呈すが、若干純い音を発し比較的容易に割れそうである。GL-13.70mから硬質になる。																
14	17.76	14.00		桃灰	III	b	3																	
15																								



岩盤ボーリング柱状図

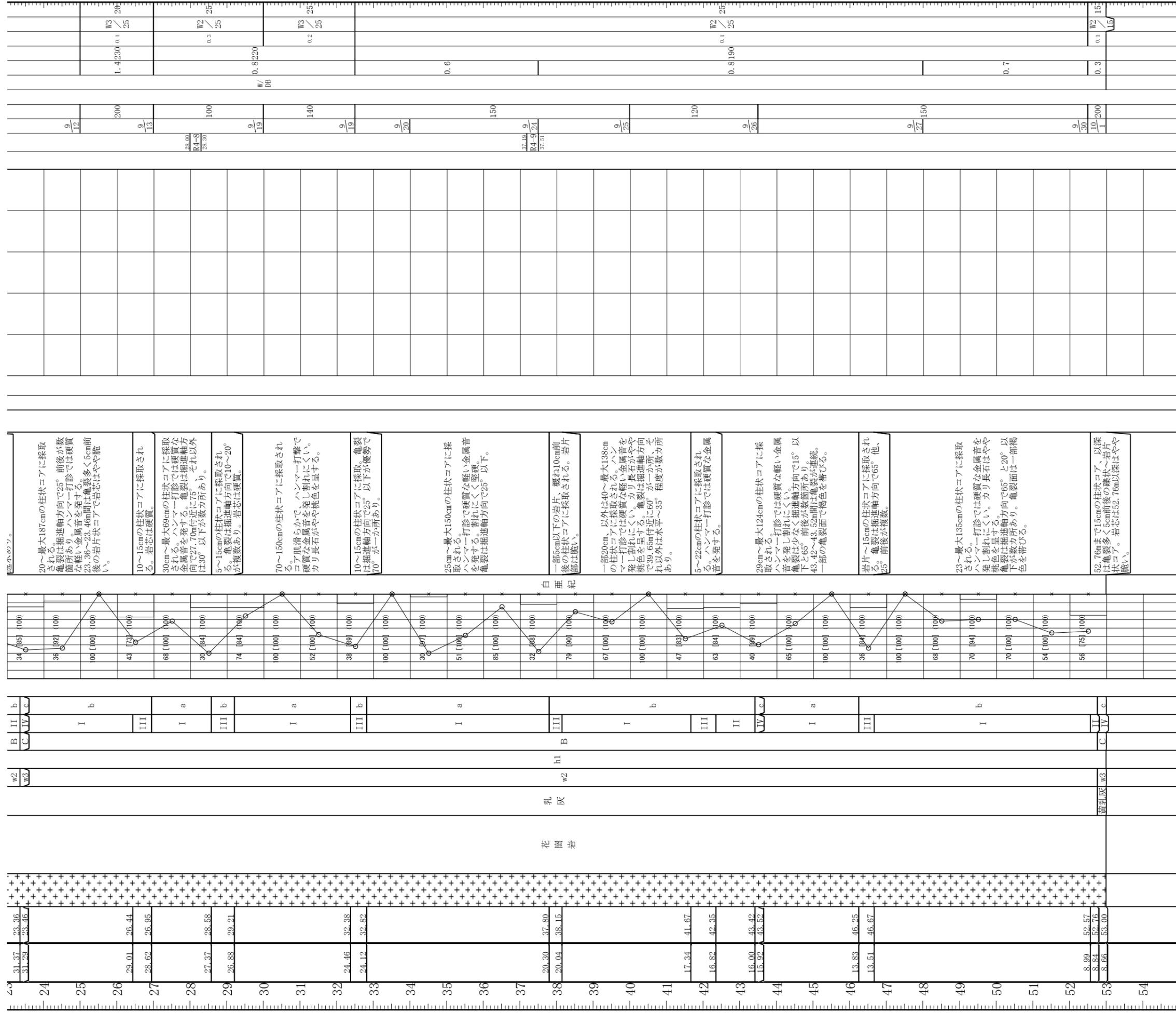
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

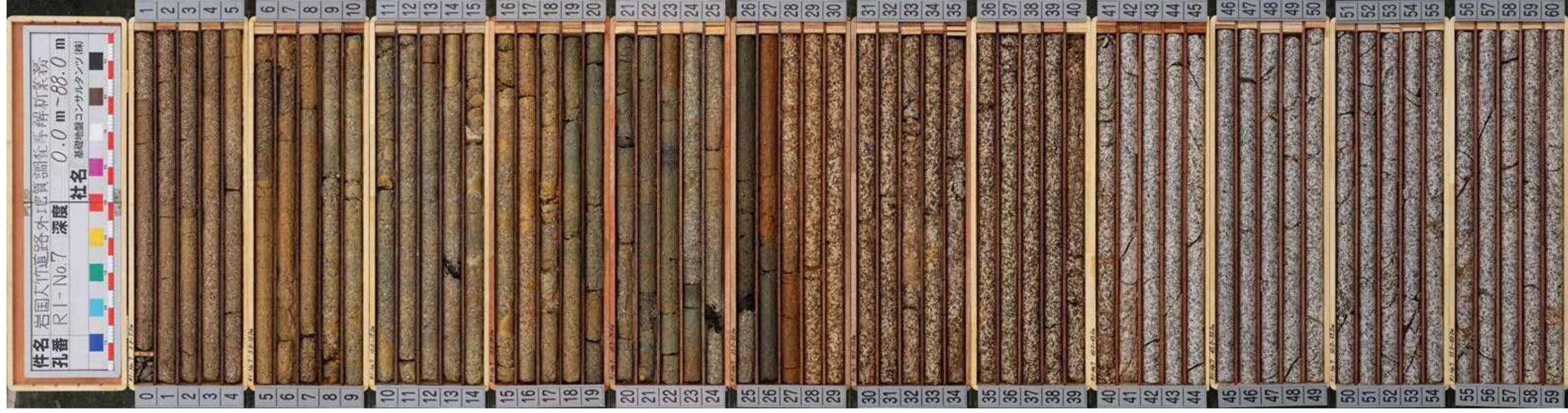
事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

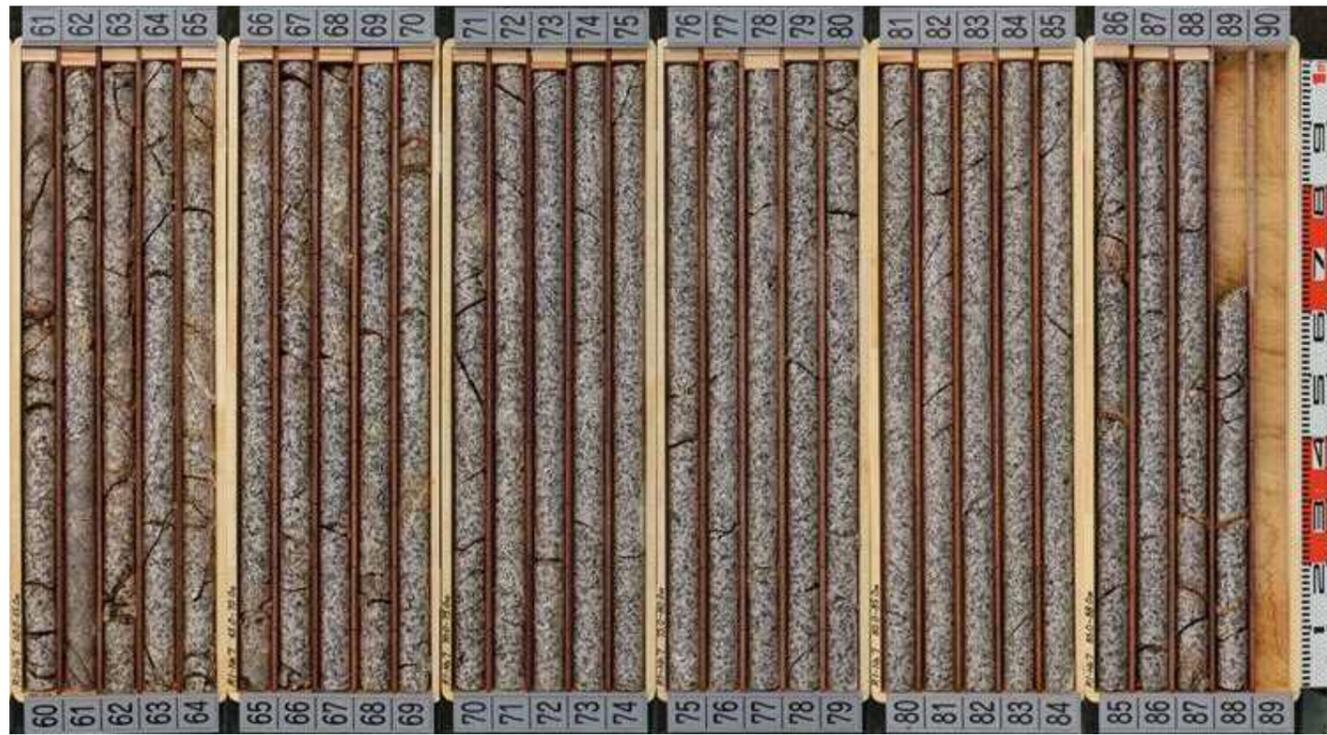
調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

ボーリング名	R1-No.4	調査位置	山口県岩国市室の木台4丁目1	北緯	34° 10' 5.2728"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2019年 9月 3日 ~ 2019年 10月 1日	東経	132° 12' 28.7718"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: YBM製 YSO-1HA	コア鑑定者	地質調査技士 登録番号: YBM製 YSO-1HA
孔口標高	T.P. 49.26m	使用機種	エンジン	ポンプ	YBM製 GP-5
総削孔長	53.00m	方位	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°		
		傾斜	水平0° 鉛直 90° 32'		
		角度	180° 上下 0° 度 40'		

標尺	高度 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬さ	割れ目の形状	岩相	コア採取率 (%) 最大コア長 RQD [%]	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		削孔状況					
														N	深度-N値図	削孔速度 (cm/h)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ビット	給回転数 (rpm)	送水・水量 (L/min)	排水
1	48.95	0.40	表土	表土	黄褐					100	完新世	草根を含む表土層。砂質土。半固結状コアに採取されるが指圧で容易に崩れる脆い状態である。岩組織は残存するが一部の長石は粘土化している。	09/05 2.60								
2	47.96	1.70		E	黄灰	w5		VI d		100		深度方向に岩組織が徐々に明瞭となる。コアは半固結状に採取され崩れる脆い状態である。深度方向に崩れる程度が異なる。亀裂は掘進軸方向に20°、60°程度が発達。	09/06 3.50	250	0.2	80	0.1	0.0	W1 0		
3				D	帯黄灰	w4		V c		100		上位に比べコアの固結度は強いが、軽打で塵状に崩れる。岩組織も完全に残存する。深度方向に20°、60°程度が発達。	09/10 7.80								
4	44.82	5.80		C	淡黄灰	w3		III b		100		1~10cm程度までの岩片~柱状コア。ハンマー打撃で濁音を発し割れる。亀裂は掘進軸方向に30°、50°。	09/10 8.68								
5	43.59	7.40		B	乳白灰	w2		II a		100		20~30cmの長柱状コア。ハンマー打撃で金属音を発する。亀裂は掘進軸方向に30°以下が優勢で8.40m付近に72°亀裂あり。	09/10 8.80								
6	43.07	8.08		C		w3		III b		100		30~45cmの柱状コアに採取。亀裂は9.30m付近に65°(掘進軸方向)の亀裂あり。	09/10 8.80								
7	43.37	9.00		B		w2		II a		100		5~36cmの岩片~柱状コアに採取。ハンマー打撃では脆い金属音で割れる。亀裂は掘進軸方向で30°程度まで。10.40~10.70m、11.08~11.17m、11.93m以深は亀裂多く疎~岩片状コアでやや脆い。	09/10 8.80								
8	41.79	9.75		C		w3		III b		100		100cmの柱状コアに採取。ハンマー打撃で硬質な脆い金属音。	09/10 8.80								
9	40.77	11.08		B		w2		II a		100		5cm以下の岩片状コア。岩芯は脆い。概ね10~23cmの柱状。一部5cm以下の岩片状コアに採取。ハンマー打撃では脆い金属音を発するが、15.81~16.76m間は亀裂多くやや濁った金属音。亀裂は掘進軸方向で20°以下が優勢で、16.55m付近に76°亀裂あり。	09/10 8.80								
10	40.70	11.17		C		w3		III b		100		10~最大154cmの柱状コアに採取。一部10cm以下の柱状~岩片状コアをなす。ハンマー打撃では硬質な金属音を発するが、15.81~16.76m間は亀裂多くやや濁った金属音。亀裂は掘進軸方向で20°以下が優勢で、16.55m付近に76°亀裂あり。	09/10 8.80								
11	40.12	11.93		B		w2		II a		100		15~20cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で25°以下が複数あり。岩芯は硬質。亀裂は掘進軸方向で30°以下。岩片状コアに採取。やや脆い。	09/10 8.80								
12	39.98	12.12		C		w3		III b		100		8~30cmの柱状コアに採取。岩芯は硬質。	09/10 8.80								
13	39.20	13.13		B		w2		II a		100		6~18cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で10°前後が複数あり。22.10m付近で5リットル/分の逸水あり。	09/10 8.80								
14	38.43	14.14		C		w3		III b		100		20~最大154cmの柱状コアに採取。一部10cm以下の柱状~岩片状コアをなす。ハンマー打撃では硬質な金属音を発するが、15.81~16.76m間は亀裂多くやや濁った金属音。亀裂は掘進軸方向で20°以下が優勢で、16.55m付近に76°亀裂あり。	09/10 8.80								
15	38.16	14.49		B		w2		II a		100		15~20cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で25°以下が複数あり。岩芯は硬質。亀裂は掘進軸方向で30°以下。岩片状コアに採取。やや脆い。	09/10 8.80								
16	37.90	14.83		C		w3		III b		100		8~30cmの柱状コアに採取。岩芯は硬質。	09/10 8.80								
17	37.64	15.17		B		w2		II a		100		6~18cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で10°前後が複数あり。22.10m付近で5リットル/分の逸水あり。	09/10 8.80								
18	37.15	15.81		C		w3		III b		100		20~最大154cmの柱状コアに採取。一部10cm以下の柱状~岩片状コアをなす。ハンマー打撃では硬質な金属音を発するが、15.81~16.76m間は亀裂多くやや濁った金属音。亀裂は掘進軸方向で20°以下が優勢で、16.55m付近に76°亀裂あり。	09/10 8.80								
19	36.42	16.76		B		w2		II a		100		15~20cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で25°以下が複数あり。岩芯は硬質。亀裂は掘進軸方向で30°以下。岩片状コアに採取。やや脆い。	09/10 8.80								
20	33.61	20.43		C		w3		III b		100		8~30cmの柱状コアに採取。岩芯は硬質。	09/10 8.80								
21	33.30	20.57		B		w2		II a		100		6~18cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で10°前後が複数あり。22.10m付近で5リットル/分の逸水あり。	09/10 8.80								
22	32.35	22.08		C		w3		III b		100		20~最大154cmの柱状コアに採取。一部10cm以下の柱状~岩片状コアをなす。ハンマー打撃では硬質な金属音を発するが、15.81~16.76m間は亀裂多くやや濁った金属音。亀裂は掘進軸方向で20°以下が優勢で、16.55m付近に76°亀裂あり。	09/10 8.80								
23	32.18	22.30		B		w2		II a		100		15~20cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で25°以下が複数あり。岩芯は硬質。亀裂は掘進軸方向で30°以下。岩片状コアに採取。やや脆い。	09/10 8.80								
24	31.37	23.36		C		w3		III b		100		8~30cmの柱状コアに採取。岩芯は硬質。	09/10 8.80								
25	31.29	23.46		B		w2		II a		100		6~18cmの柱状コアに採取。亀裂は掘進軸方向で10°前後が複数あり。22.10m付近で5リットル/分の逸水あり。	09/10 8.80								







岩盤ボーリング柱状図

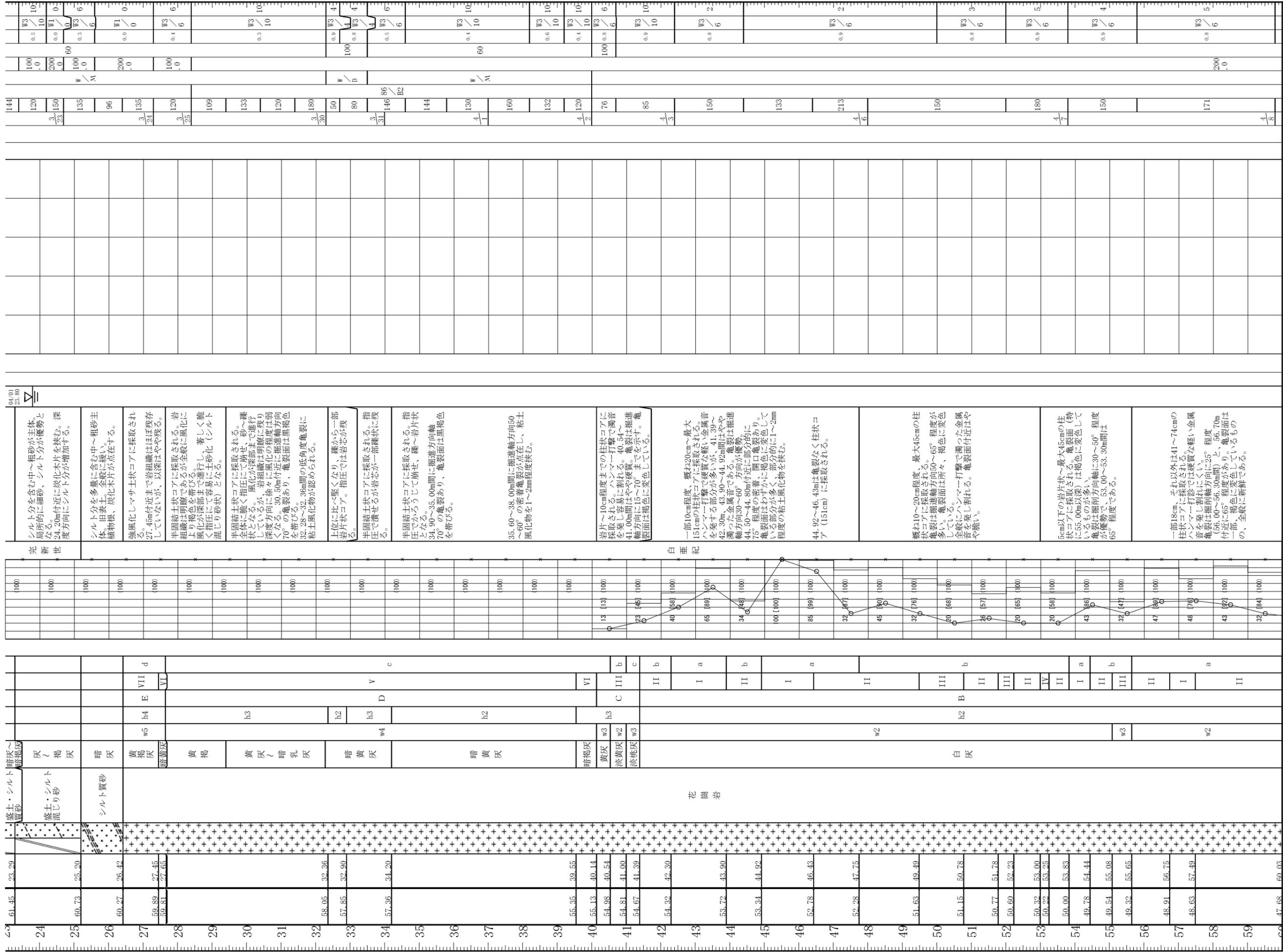
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

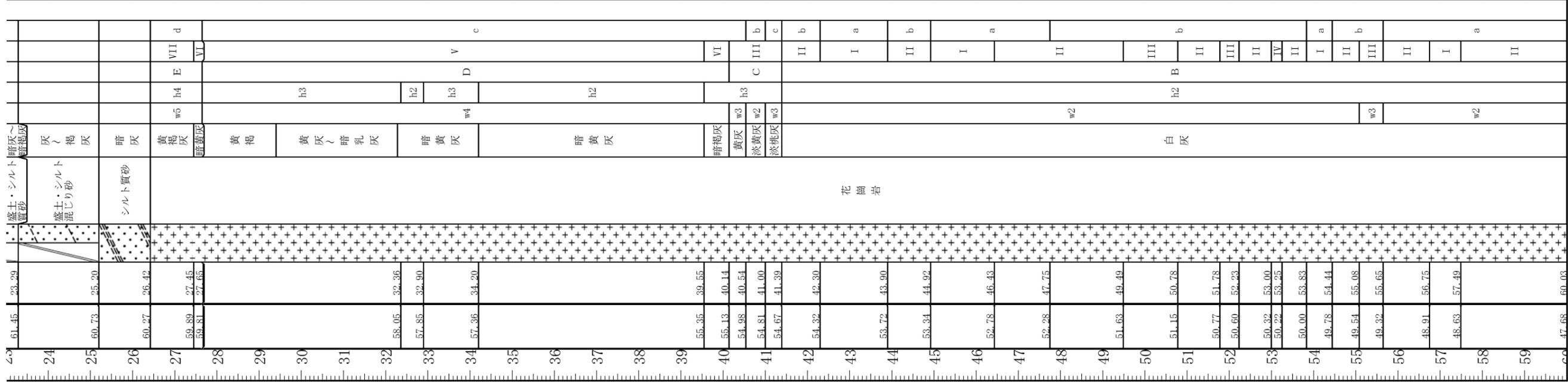
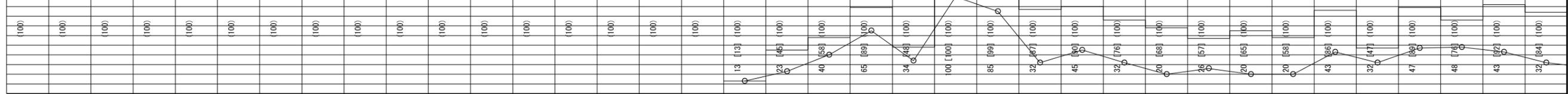
ボーリング名	R1-No. 7	調査位置	山口県岩国市室の木町4丁目1		北緯	34° 10' 2.8462"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2020年 3月 10日 ~ 2020年 4月 16日		東経	132° 12' 27.5917"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: YBM製 YSO-1HA		ボーリング者 地質調査技士 登録番号: YBM製 GP-5	
孔口標高	T.P. 70.17m	試験機	使用機種		コア鑑定者 地質調査技士 登録番号:	
総削孔長	88.00m	方位	方位 180° 上下 0° 90° 東 68° 270° 西 180° 南	鉛直 水平0° 鉛直 90° 30°	ポンプ ヤンマードイゼル NFD-9	

標尺 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬軟状態	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 RQD [%]	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		室内		削孔状況		
													N	深度-N値図	位置	試験	削孔速度 (cm/h)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ビット
1			盛土・シルト混じり砂	暗褐色 / 黄灰					(100)	*	表面10cmはコンクリート(法砂)・全軟にシルト分を含む細〜粗砂からなる不均一な砂質土(マサ土)の盛土。付近よりφ10~30mm程度の小礫の混入が認められる。全体的に緩い。	0	0	200	200	打 / M	60	0.0	W1 / 0
2			盛土・シルト質砂	淡黄灰 / 黄灰					(100)	*	シルト分を多く含む細〜粗砂からなる不均一な砂質土(マサ土)の部分的に中〜粗砂が優勢となる。所々、植物根が混入する。	3	10	240	240		60	0.6	W3 / 3
3			盛土・礫混じり砂	暗黄灰 / 淡灰 / 暗灰					(100)	*	φ10~50mm (最大φ100mm) 程度の角礫を不均一に混入する細〜粗砂主体(盛土)。不均一を含む。礫種は花崗岩で、風化が進み軟質なものが多い。	3	11	108	108		60	0.6	W3 / 3
4			盛土・シルト混じり砂	淡灰 / 褐色					(100)	*	シルト分を少量含む細〜粗砂からなる不均一な砂質土。炭化物を挟む。	3	13	95	95	W / D	60	0.5	W3 / 3
5	68.35	4.85	盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*	φ10~30mm (最大φ170mm) 程度の角〜亜角礫を不均一に混入する細〜粗砂主体(盛土)。礫種は花崗岩で、風化が進み軟質なものが多い(ハンマー打撃で破碎する)。	04/03 16.40	20	72	72		60	0.6	W3 / 3
6			盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*	16.85~17.45m間はシルト分を多く含む緩い状態。	04/06 16.40	20	85	85		60	0.6	W3 / 3
7			盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*	シルト分を多く含む細〜粗砂からなる不均一な砂質土(盛土)。18.0m付近にφ10mm程度の小礫を若干混入する。	04/06 16.40	20	75	75		60	0.6	W3 / 3
8	67.17	8.00	盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*	21.00~22.80m間に炭化木片が点在する。所々、植物根を混入する。	04/06 16.40	20	100	100		60	0.6	W3 / 3
9			盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*	シルト分を含む中〜粗砂が主体。	04/01 23.80	20	83	83		60	0.6	W3 / 3
10			盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
11			盛土・シルト質砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
12	65.67	12.00	盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
13			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
14	64.98	13.85	盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
15			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
16			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
17			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
18	63.50	17.80	盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
19			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
20			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
21			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
22			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3
23	61.45	23.29	盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	83	83		60	0.6	W3 / 3
24			盛土・シルト混じり砂	暗灰 / 暗黄灰					(100)	*			20	95	95		60	0.6	W3 / 3



04.01
23.80

完新世





全般に亀裂多く、5cm程度までの岩片、最大20cmの柱状コアに採取される。ハンマー打撃で満った金属音を発し割れるが、亀裂発達部ではやや脆い。亀裂面に沿って変質が多い。褐色に変色している部分が多い。亀裂は掘進方向軸に10~70°程度までが掘進している。60.55~61.40m間は岩脈（アブライト）が分布する。

概ね10~30cm程度が優勢、最大86cmの柱状コアに採取される。66.75m付近、70.10~70.23m間は亀裂多く5cm以下の岩片状をなす。

岩芯はハンマー打撃で鈍い金属音を発し、割れやすい。亀裂面に沿って変質が進み褐色に変質している部分が多い。

亀裂は掘進方向軸に20~30°が優勢であるが、70.50m付近に60°も見られる。

15cm程度の柱状~75cm程度までの柱状コアに採取される。岩芯はハンマー打撃で金属音を発し割れにくい。亀裂面は全般に風化変質しており寸密着している。亀裂は掘進方向20~30°が優勢であるが、61-75.00m付近に65°も見られる。

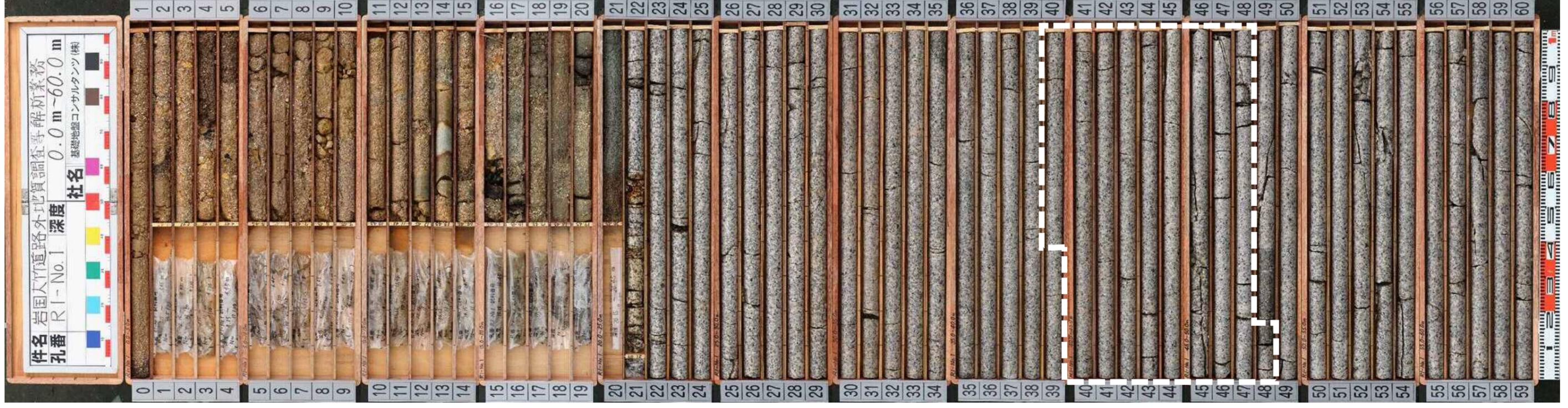
74.95~75.48m間はやや密着亀裂が多く、岩芯もやや軟質となる。

79.50~80.12m間はやや密着亀裂が多く、79.95m付近では岩片コアとなる。岩芯もやや軟質となる。

81.40~81.80m間は掘進軸方向40~60°の亀裂多く、岩芯もやや軟質となる。

82.85~83.10m間は掘進軸方向40°前後の亀裂多量に発達し、掘進軸方向に沿って緑色粘土鉱物を1~3mm程度挟む。岩芯もやや軟質（DM級）となる。

10~30cm程度までの柱状コアが優勢。部分的に亀裂多く5cm程度の岩片状コアをなす。ハンマー打撃では86.24m付近まで概ね満った金属音を発し割れにくい。84.98~86.24m、86.92~87.27m間はやや亀裂多い。亀裂は掘進軸方向20~30°が優勢であるが、61-85.80m付近に60°も見られる。



岩盤ボーリング柱状図

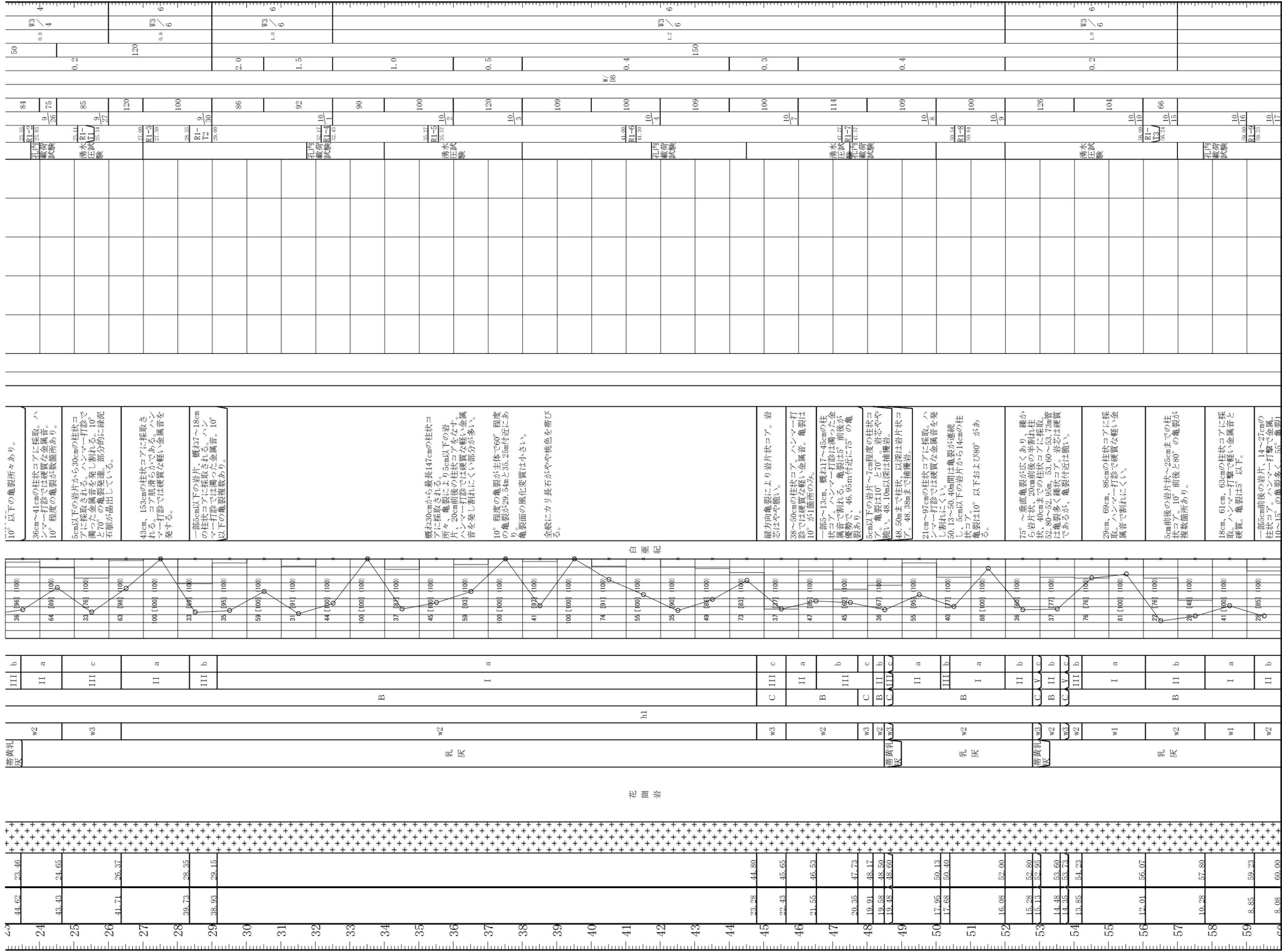
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

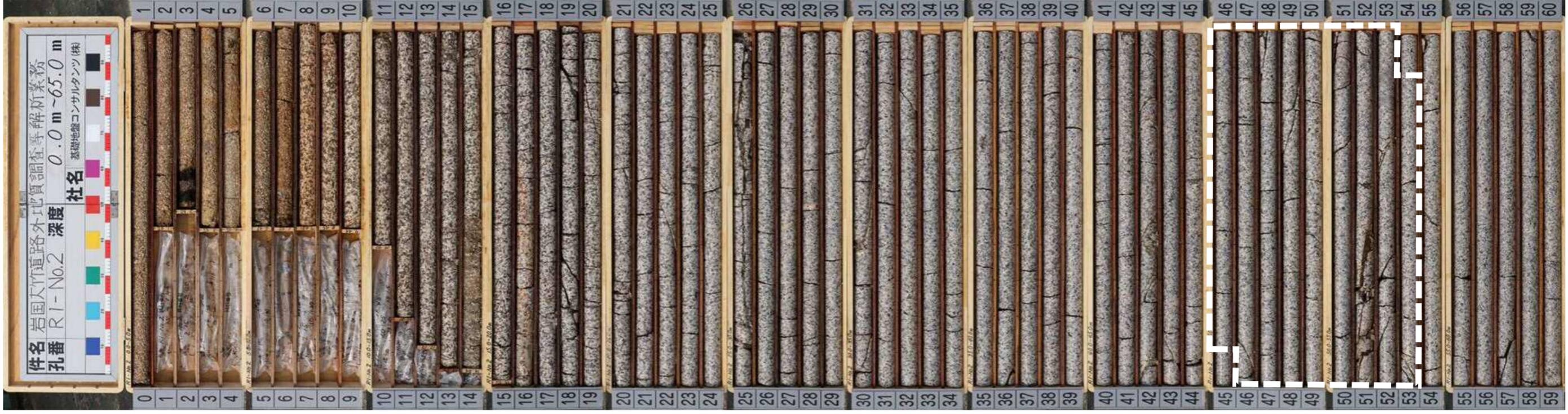
調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

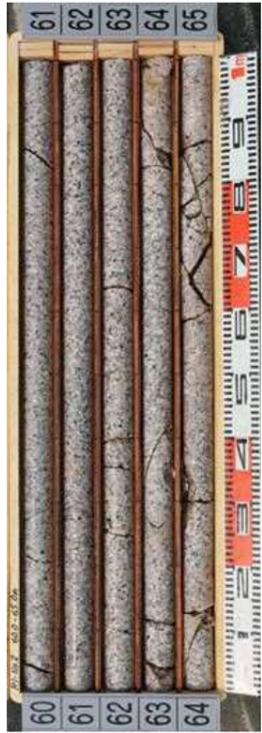
ボーリング名	R1-No.1	調査位置	山口県岩国市室の木町4丁目1	北緯	34° 10' 2.6281"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2019年 8月 27日 ~ 2019年 10月 17日	東経	132° 12' 29.1344"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: 〃	コア鑑定者	地質調査技士 登録番号: 〃
ボーリング高さ	T.P. 68.08m	使用機種	YBM製 YSO-1WA	ボーリング責任者	地質調査技士 登録番号: 〃
ボーリング長さ	60.00m	エンジン	ヤンマーディーゼル NFD-9	ポンプ	YBM製 GP-5

標尺 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬さの程度	割れ目の形状	岩質	コア採取率 (%)	地質時代	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		室内位置試験		削孔状況											
													N	深度-N値図	N	位置	削孔速度 (cm/h)	削孔径・孔壁保護	コアチェックシート	給回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/min)	排水量 (L/min)					
66.43	1.65	盛土・シルト混じり砂	盛土・シルト混じり砂	暗黄褐色					(100)	*	盛土(事土)。液性0.05mは毎根含む黒色土塊。ややシルト分が多く混じる粗粒状石炭粒を多く含む砂。	09/05 4.80	5.15 300	1.45	3.00	600/B2	115	0.0	0.0	0	0	0	0					
62.08	6.00	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	黄褐色 / 暗褐色 / 暗褐色					(100)	*	盛土。φ2~4cmの礫を不均一に混入するシルト混り砂。含水率低い。下部、礫の混入量増加する。	09/07 8.40	18.15 300	2.45	3.00	8/28	330	0.0	0.0	0	0	0	0	0				
60.78	7.30	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	暗黄褐色					(100)	*	φ10mm前後の細礫混入する中〜粗砂。	09/05 8.20	21.15 300	7.45	3.00	8/02	330	0.0	0.0	0	0	0	0	0				
51.58	16.50	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	暗黄褐色 / 黄褐色					(100)	*	マサ土主体の盛土。礫及び細粒分を不均一に混入する砂質土。5.65m付近、8.70m付近、8.90m付近、9.88m付近にφ1~5cmの亜角礫を混入する。5.80m、9.75m付近に黄褐色を呈する粘土の薄層(1~2cm)を挟む。12.45~12.60m間にφ1~8cmの硬質礫を混入。13.52~13.84m間にφ30cmの硬質礫(花崗斑岩)を混入。14.50m付近よりシルト分をやや多く含む部分が認められる。15.59~15.57m間に草根を多く含む黒色土塊を混入。15.97~15.95m間にφ1~3cm硬質角礫を混入。18.55~18.65m間に粗粒状石炭粒を多く含むシルト混じり砂。15.95m付近に未炭化の木片を混入。	09/05 11.90	10.15 300	11.45	3.00	9/04	630	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48.23	19.85	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	暗灰 / 暗黄褐色					(100)	*	全体に不均一な盛土。礫混じり砂。含水ややあり。シルト質細粒砂かシルト質粗粒砂か。17.75m以下に、シルト質細粒砂か粗粒砂か。5°以下の亀裂多し。岩性は脆い。18.55~18.65m間にビニールの繊維状の物が含まれる。	09/05 15.30	12.45 300	13.45	3.00	9/09	66	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47.63	20.45	シルト混じり砂	シルト混じり砂	暗褐色					(100)	*	細〜中砂主体。有機質。	09/05 16.20	14.45	15.00	3.00	9/11	66	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			
47.48	20.60	シルト質砂	シルト質砂	暗褐色					(100)	*	粗砂主体。木片多量に混入。	09/05 17.00	16.45	16.00	3.00	9/11	66	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			
47.08	21.00	花崗岩	花崗岩	暗褐色					(100)	*	シルト分を多く含む中〜粗砂。5cm以下の岩片状コア主体、一部8cm柱状コア。5°以下の亀裂多し。岩性は脆い。5cm以下の岩片から32cmまでの柱状コアに採取。ハンマー打診では濁った金属音で割れる。10°以下の亀裂所々あり。	09/05 21.00	17.15	17.00	3.00	9/12	83	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	
46.48	21.60	花崗岩	花崗岩	暗褐色					(100)	*	36cm~41cmの柱状コアに採取。ハ	09/05 21.07	17.45	17.00	3.00	9/12	83	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			
45.88	22.20	花崗岩	花崗岩	暗褐色					(100)	*		09/05 22.00	17.45	17.00	3.00	9/12	83	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			
45.30	22.78	花崗岩	花崗岩	暗褐色					(100)	*		09/05 22.00	17.45	17.00	3.00	9/12	83	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			
44.62	23.46	花崗岩	花崗岩	暗褐色					(100)	*		09/05 23.55	17.45	17.00	3.00	9/12	83	0.2100	0.2	0	0	0	0	0	0			



高さ	59.23	T + + + + +	花崗岩	乳 灰	wL		B	I		28 (85) (100)	白 堊 紀	一部5cm前後の岩片、14~27cmの 柱状コア。ハンマー打撃で金属。 10~15°の亀裂多く、55°亀裂1 箇所あり。	B1-9 38.23	10 17								
					h1	w2		h1	h2													
60	8.85																					
61	8.08																					





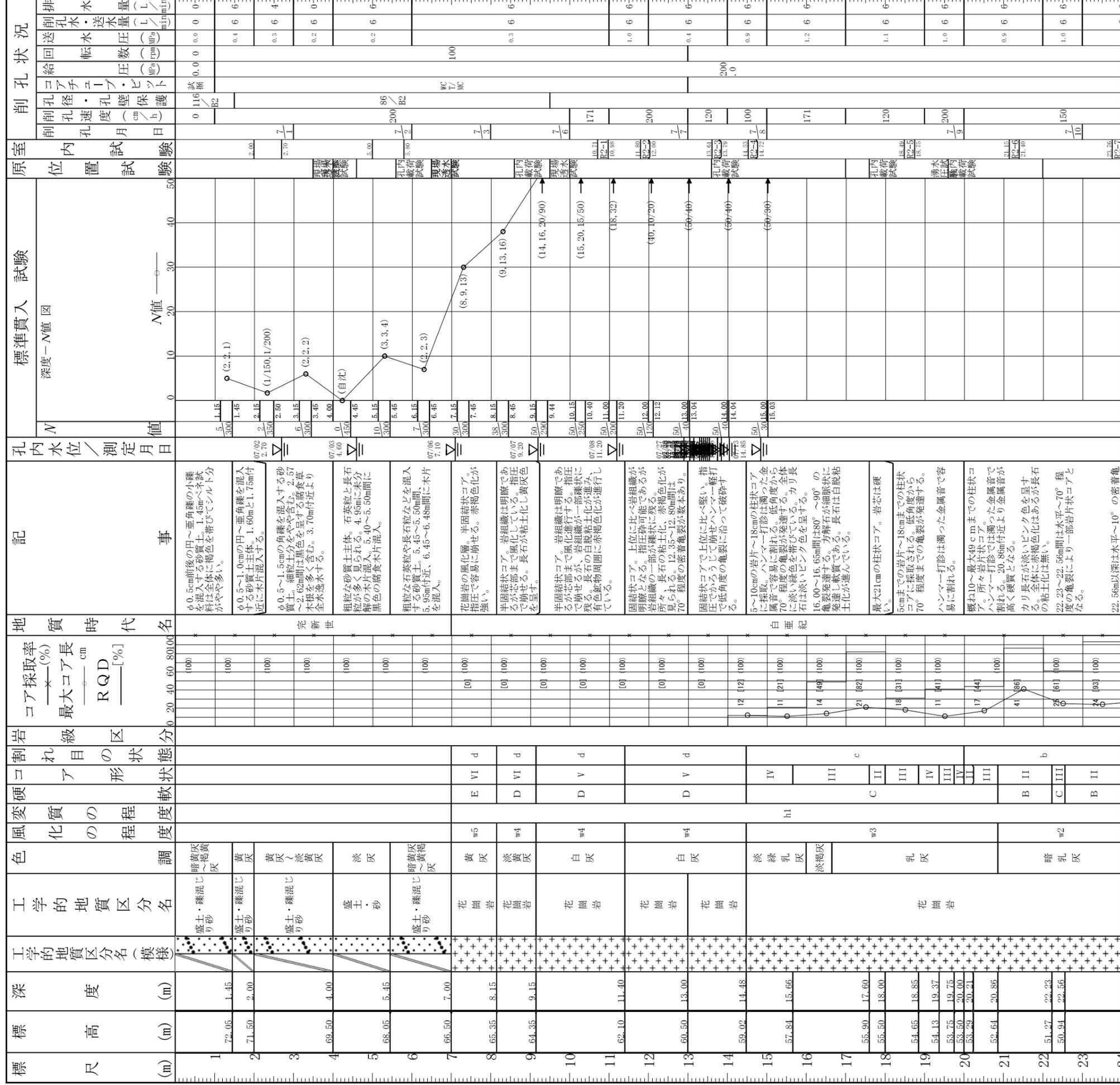
岩盤ボーリング柱状図

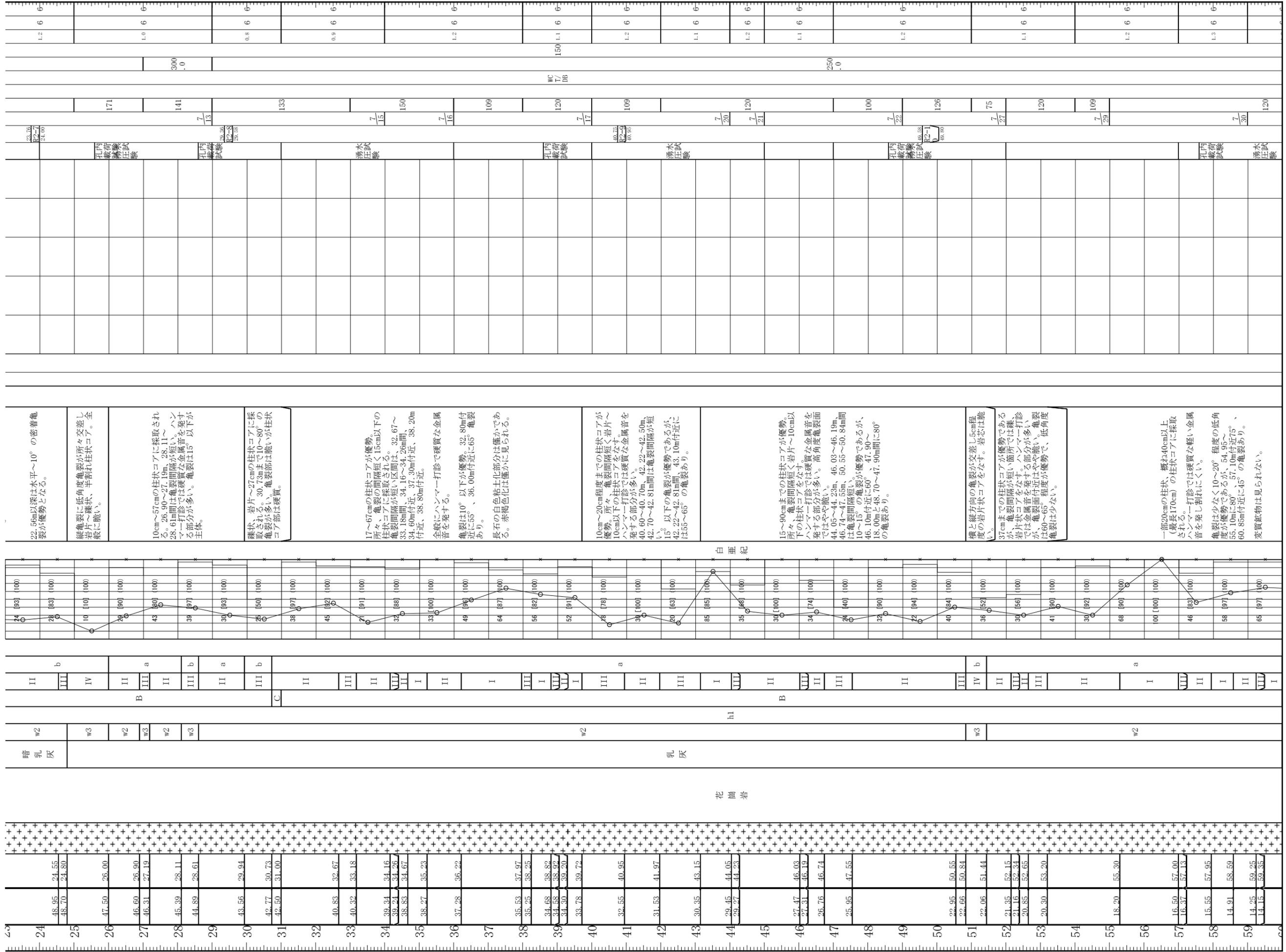
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

ボーリング名	R1-No.2	調査位置	山口県岩国市室の木町4丁目87	北緯	34° 10' 0.3338"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2020年 7月 1日 ~ 2020年 8月 4日	東経	132° 12' 25.8664"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: コ鑑定者 地質調査技士 登録番号:	ボーリング者	地質調査技士 登録番号:
標高	T.P. 73.50m	使用機種	YBM製 YSO-1WA	ポンプ	YBM製 GP-5
深さ	65.00m	エンジン	東芝 IKKH3		
傾斜	0°	鉛直	90°		





22.56m以深は水平 \sim 10°の密着亀裂が優勢となる。

縦亀裂に低角度亀裂が所々交差し岩片 \sim 鱗状、半割れ柱状コア。全般に脆い。

10cm \sim 57cmの柱状コアに採取される。26.90 \sim 27.19m、28.11 \sim 28.61m間は亀裂間隔が短い。ハンマー打診では硬質な金属音を発する部分が多い。亀裂は15°以下が主体。

鱗状、岩片 \sim 27cmの柱状コアに採取される。30.73mまで10 \sim 80の亀裂が多い。亀裂部は脆いが柱状コア部分は硬質。

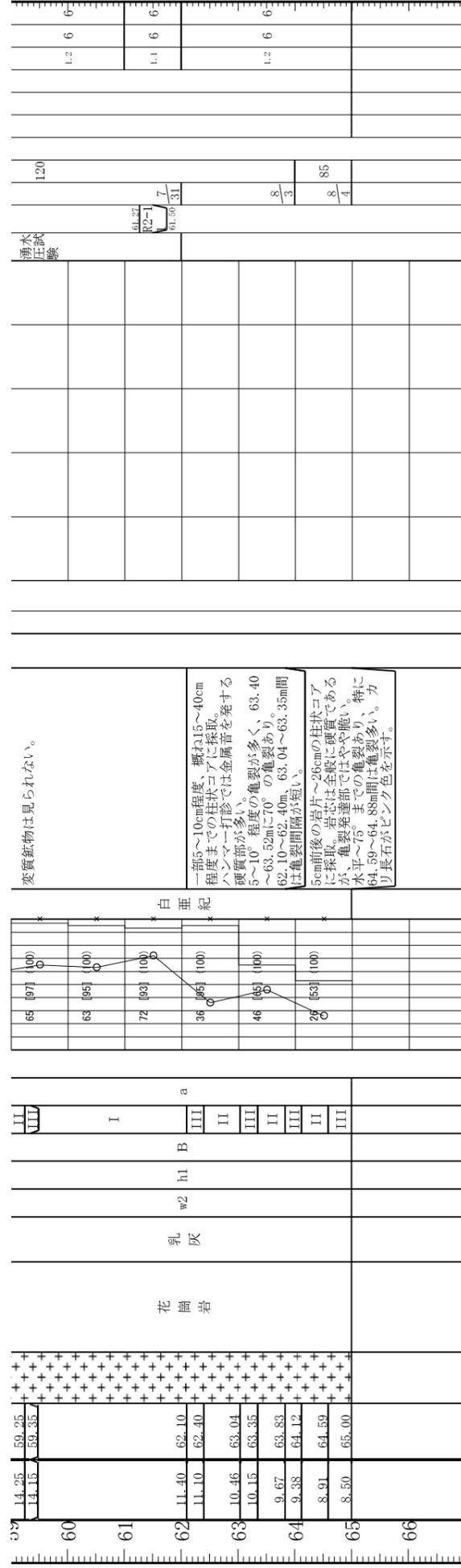
17 \sim 67cmの柱状コアが優勢。所々、亀裂の間隔短く15cm以下の柱状コアに採取される。32.67 \sim 33.18m間は亀裂間隔が短い。34.26m間、34.60m付近、37.30m付近、38.20m付近、38.80m付近。全般にハンマー打診で硬質な金属音を発する。亀裂は10°以下が優勢。32.80m付近に55°、36.00m付近に65°の亀裂あり。長石の白色粘土化部分は僅かに見られる。

10cm \sim 20cm程度までの柱状コアが優勢。所々、亀裂間隔短く岩片 \sim 10cm以下の柱状コアをなす。ハンマー打診では硬質な金属音を発する部分が多い。40.60 \sim 40.70m、42.22 \sim 42.50m、42.70 \sim 42.81m間は亀裂間隔が短い。15°以下の亀裂が優勢であるが、42.22 \sim 42.81m間、43.10m付近には55 \sim 65°の亀裂あり。

15 \sim 90cmまでの柱状コアが優勢。所々、亀裂間隔短く岩片 \sim 10cm以下の柱状コアをなす。ハンマー打診では硬質な金属音を発する部分が多い。高角度亀裂面ではやや脆い。44.05 \sim 44.23m、46.03 \sim 46.19m、46.74 \sim 47.55m、50.55 \sim 50.84m間は亀裂間隔短い。亀裂が優勢であるが、46.10m付近に60°、47.90 \sim 48.00mと48.70 \sim 47.90m間に80°の亀裂あり。

横と縦方向の亀裂が交差し5cm程度の岩片状コアをなす。岩芯は脆い。37cmまでの柱状コアが優勢であるが、亀裂間隔が短い箇所では鱗、岩片状コアをなす。ハンマー打診では金属音を発する部分が多い。亀裂面付近はやや脆い。亀裂は60 \sim 65°程度が優勢で、低角度亀裂は少ない。

一部20cmの柱状、概ね40cm以上(最長170cm)の柱状コアに採取される。ハンマー打診では硬質な軽い金属音を発し割れにくい。亀裂は少なくとも10 \sim 20°程度の低角度が優勢であるが、54.95 \sim 55.10mに80°、57.10m付近75°、60.85m付近に45°の亀裂あり。変質鉱物は見られない。







岩盤ボーリング柱状図

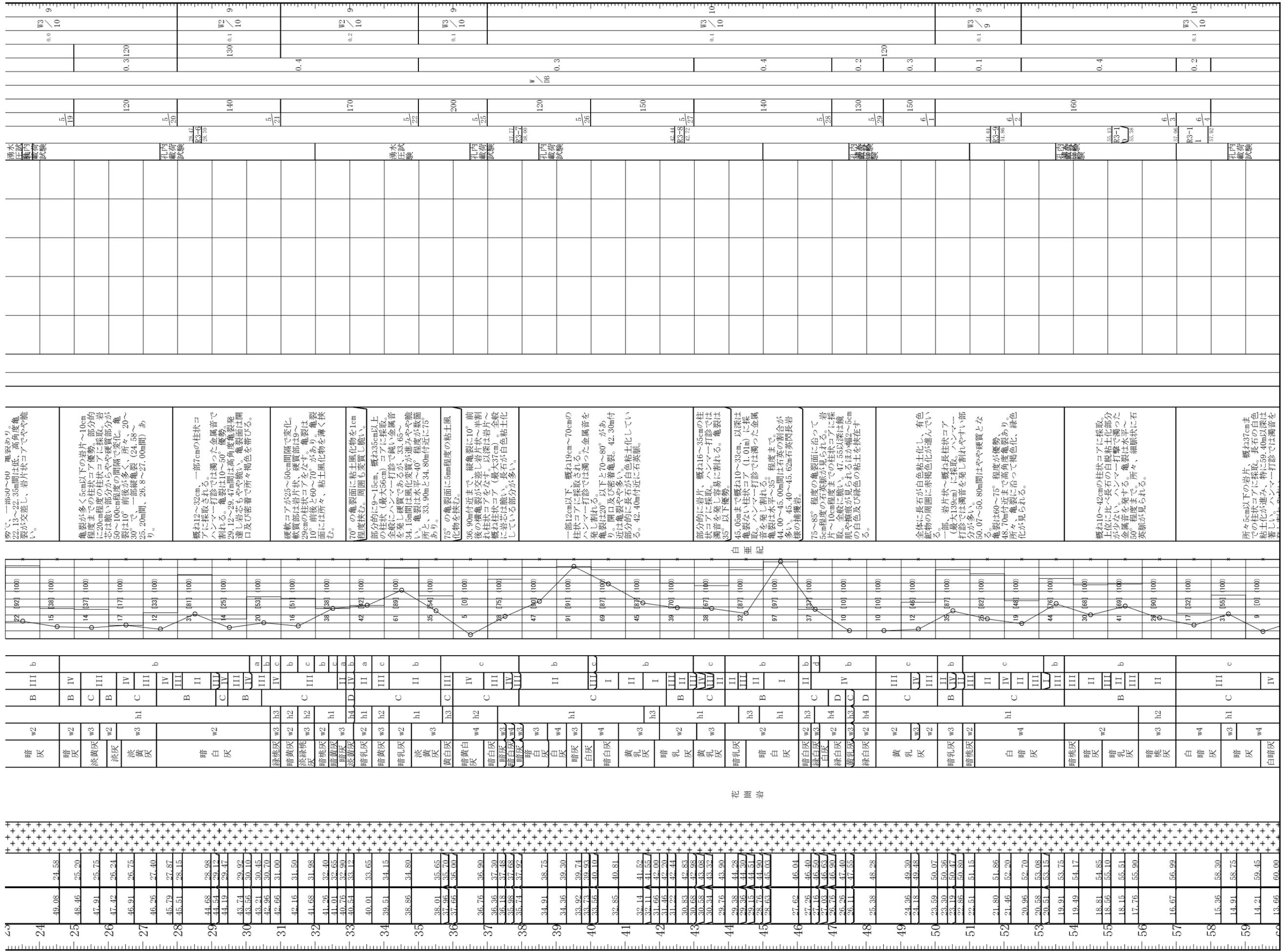
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空間

ボーリング名	R1-No. 3	調査位置	山口県岩国市室の木4丁目93	北緯	34° 10' 0.3658"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2020年 5月 11日 ~ 2020年 6月 9日	東経	132° 12' 31.2444"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: []	コア鑑定者	地質調査技士 登録番号: []
ボーリング高さ	T.P. 73.66m	使用機種	YBM-1WA	ポンプ	GP-5
ボーリング長さ	66.00m	エンジン	TOSHIBA IKKH3		

標尺	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬さ	割れ目の形状	岩相	コア採取率 最大コア長 RQD [%]	地盤勾配	方位	主任技師	調査位置	調査期間	現場	コア鑑定者	ボーリング責任者	原室				削孔状況						
																		位置試験	標準貫入試験	室内	削孔速度 (cm/min)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ピット	給水・回転数 (MPa/rev)	送水・送水量 (L/min)	排水	削孔速度 (cm/min)	削孔径・孔壁保護
1	72.86	盛土(小礫混じり砂)	盛土(小礫混じり砂)	暗灰	w5	E VII d			(100)	北 0°	270°	地質調査技士 登録番号: []	山口県岩国市室の木4丁目93	2020年 5月 11日 ~ 2020年 6月 9日	地質調査技士 登録番号: []	地質調査技士 登録番号: []	116 / B2	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	打ち込み	116 / B2	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	0.0 / 0.0	
2	71.66			黄褐	w4				(100)	鉛直 90°	0°						5 / 11	0.3										
3	70.66			淡緑灰 ~ 淡暗灰	w5	D VI d			(100)								5 / 11	0.1										
4	69.31			暗灰 / 白灰	w4	D VI c			(100)								5.74 / 5.80	0.3										
5									(100)								5.74 / 5.80	0.1										
6									(100)								5.74 / 5.80	0.1										
7									(100)								5.74 / 5.80	0.1										
8	65.76				w4				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
9					w4				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
10					w4				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
11	62.50				w4				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
12	61.44				w4				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
13	60.66				w3				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
14	59.88				w3				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
15	58.77				w3				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
16	57.20				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
17	57.13				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
18	56.16				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
19	54.56				w3				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
20	53.88				w3				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
21	52.16				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
22	51.53				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										
23	51.31				w2				(100)								5.74 / 5.80	0.1										



で、一部90~60 亀裂あり。22.13~22.35m間は低 高角度亀裂が交差し、岩片状コアでやや脆い。

亀裂が多く5cm以下の岩片~10cm程度までの柱状コア優勢。部分的に20cm程度の柱状コアに採取。岩片は脆い部分からやや硬質部分が50~100cm程度の間隔で変化する。20~30 前後が多数、所々、20~25.20m間、26.8~27.00m間あり。

概ね12~32cm、一部7cmの柱状コアに採取される。硬質部は9~29cmの柱状コアをなす。亀裂は10前後と60~70 があり、亀裂面には所々、粘土風化物を薄く挟む。

硬軟コアが25~50cm間隔で変化。軟質部は岩片状、硬質部は9~29cmの柱状コアをなす。亀裂は10前後と60~70 があり、亀裂面には所々、粘土風化物を薄く挟む。

70°の亀裂面に粘土風化物を1cm程度挟む。周囲も変質し脆い。部分的に9~15cm、概ね35cm以上の柱状(最大56cm)コアに採取。全般的にハンマー打診で鈍い金属音を発し硬質であるが、33.65~34.15m間は風化変質が進みやや脆い。亀裂は水平~40°程度が数箇所と、33.90mと34.80m付近に75°あり。

75°の亀裂面に5mm程度の粘土風化物を挟む。36.90m付近まで、縦亀裂に10°前後の傾斜が交差し岩片状~半割柱状コアをなす。以ては岩片~概ね柱状コア(最大37cm)。全般的に岩片は脆い。長石が白色粘土化している部分が多い。

一部12cm以下、概ね19cm~70cmの柱状コアに採取される。ハンマー打診では濁った金属音を発し割れる。亀裂は20°以下と70~80°があり、開口及び密着亀裂。42.30m付近は亀裂やや多い。部分的に長石が白色粘土化している。42.40m付近に石英脈。

部分的に岩片、概ね16~35cmの柱状コアに採取。ハンマー打診では濁音を発し容易に割れる。亀裂は35°以下優勢。45.05mまで概ね10~33cm、以ては亀裂のない柱状コア(1.01m)に採取。ハンマー打診では濁った金属音を発し割れる。亀裂は水平~35°程度まで。44.00~45.00m間は石英の割合が多い。45.40~45.62m石英肉長石脈の捕獲岩。

75~85°程度の亀裂面に沿って5cm程度の石英脈が見られる。岩片~10cm程度までの柱状コアに採取。全般的に脆い。47.55以降は縞肌や縞縞が見られる。ほぼ9~5cmの白色及び緑色の粘土を挟む。

全体に長石が白色粘土化し、有色鉱物の周囲に赤褐色化が進んでいる。一部、岩片状~概ね長柱状コア(最大139cm)に採取。ハンマー打診では濁音を発し割れやすい部分が多い。50.07~50.80m間はやや硬質となる。亀裂は60~75°程度が優勢。48.70m付近まで高角度亀裂あり。所々、亀裂に沿って褐色化、緑色化が見られる。

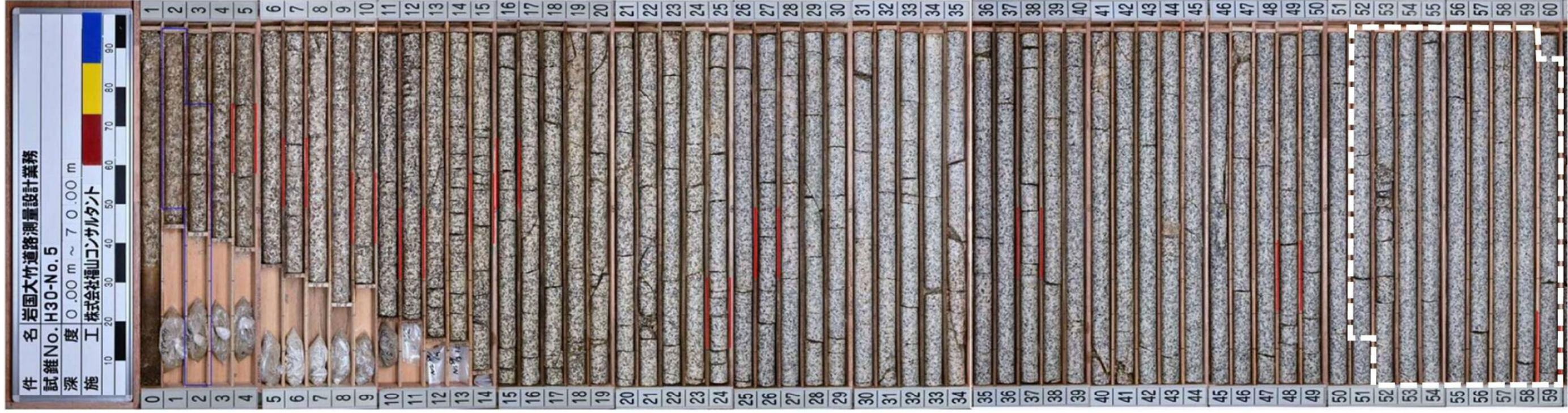
概ね10~42cmの柱状コアに採取。上位に比べ長石の白脱粘土化部分が少ない。ハンマー打撃で濁った金属音を発する。亀裂は水平~50°程度まで。所々、細脈状に石英脈が見られる。

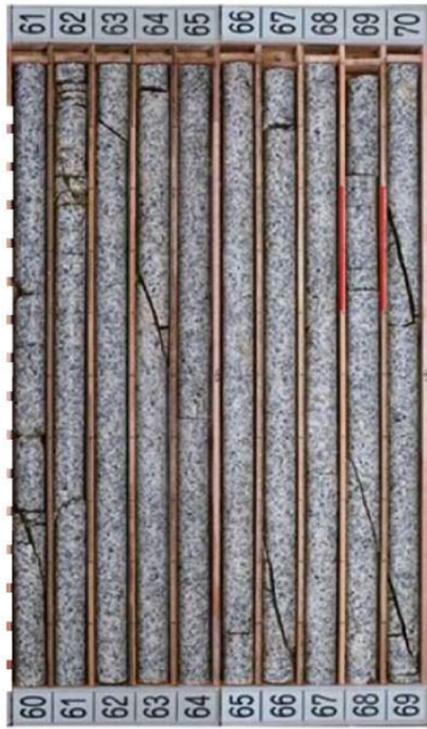
所々5cm以下の岩片、概ね37cmまでの柱状コアに採取。長石の白色粘土化が進み、特に59.40m以降は著しい。ハンマー打診では濁音を

白亜紀

花崗岩







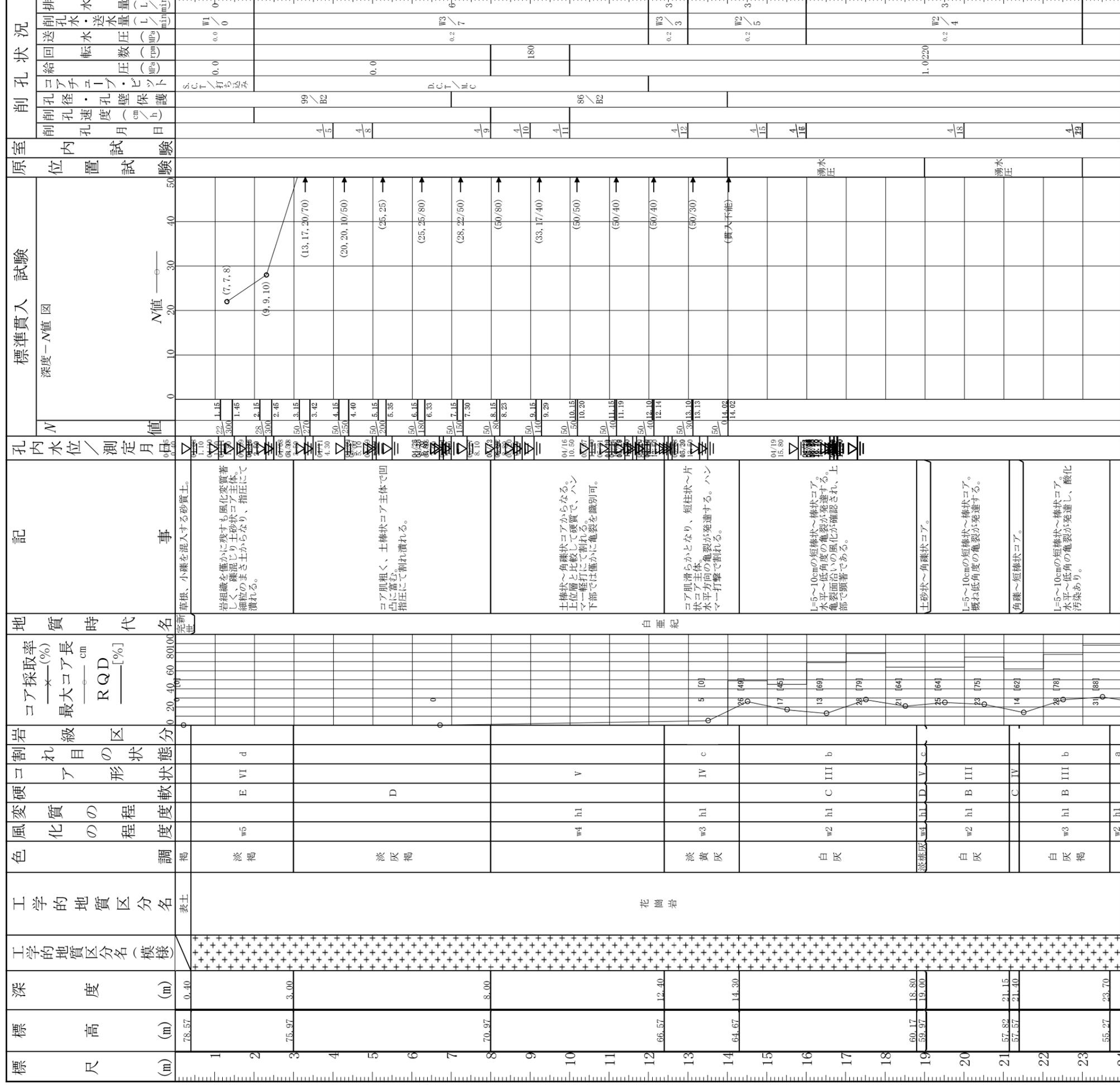
岩盤ボーリング柱状図

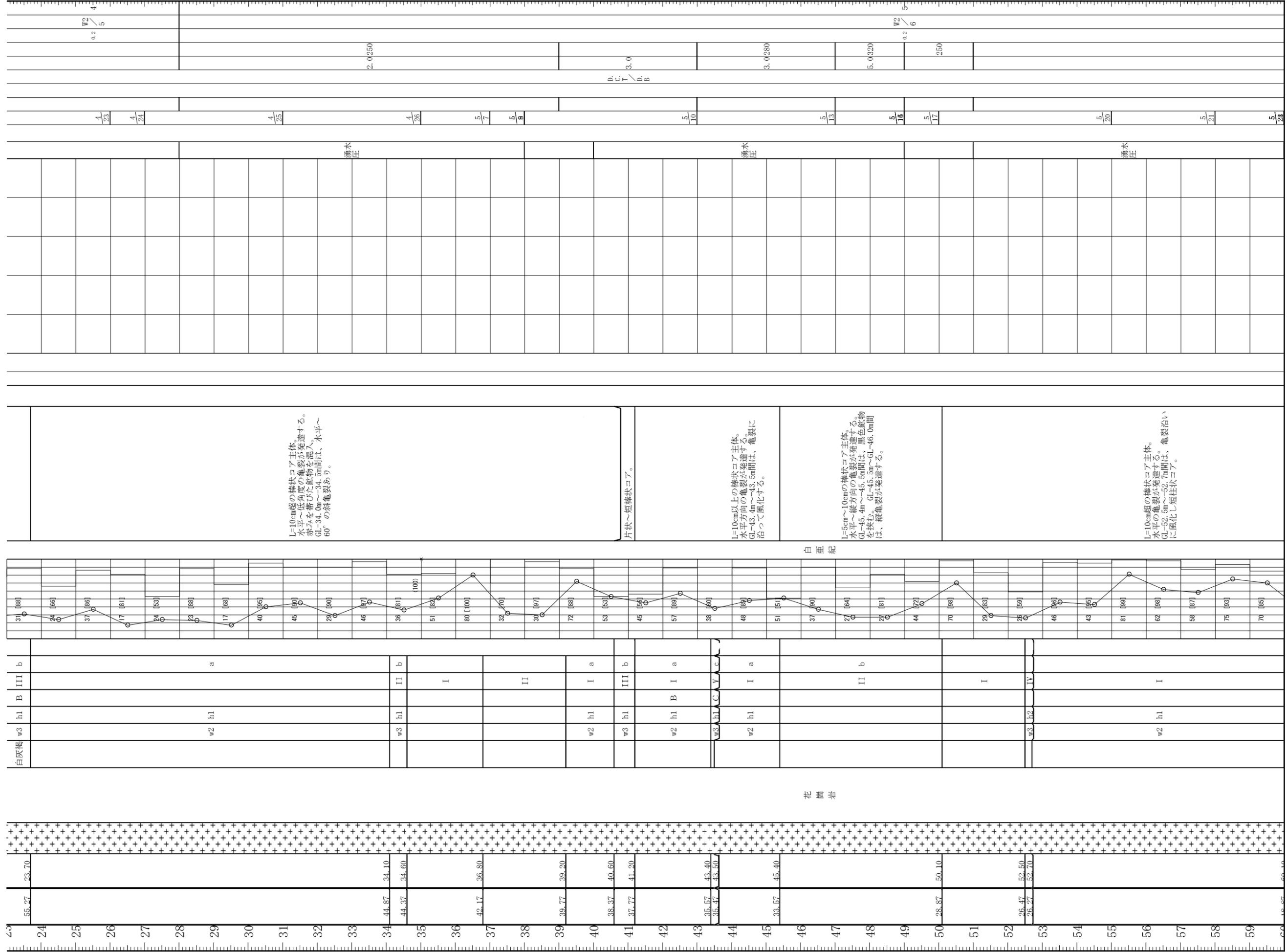
調査名 岩国大竹道路測量設計業務

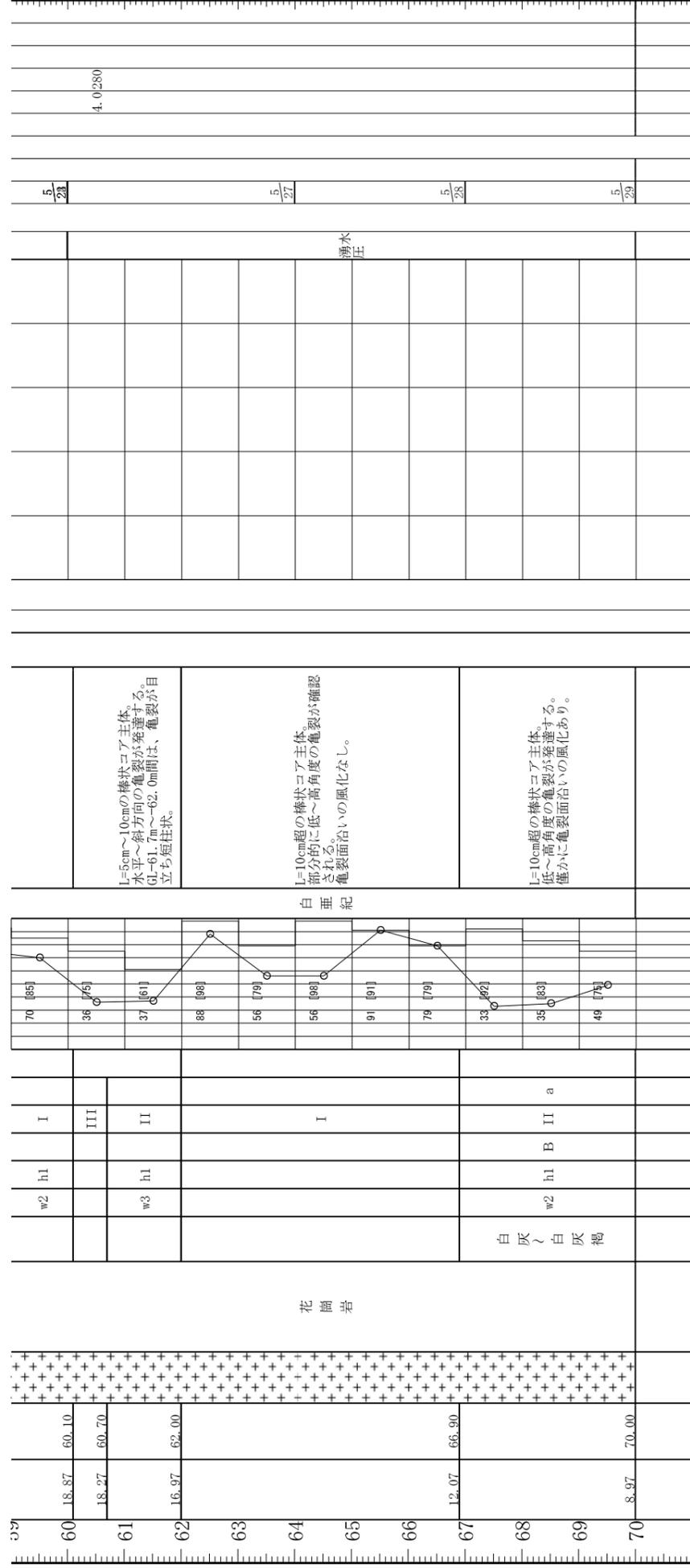
事業名 または 工事名 岩国大竹道路測量設計業務

調査目的及び調査対象

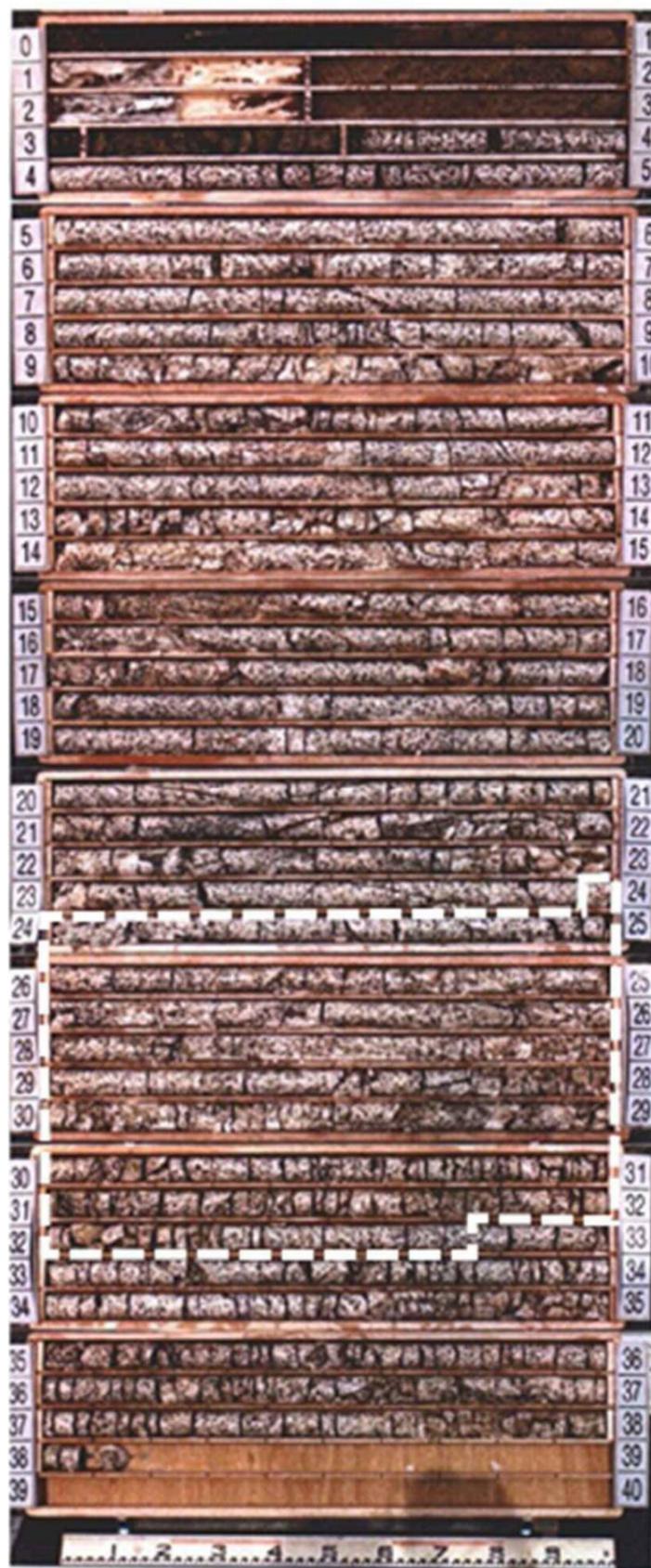
ボーリング名	H30-No. 5	調査位置	山口県岩国市室の木4丁目		北緯	34° 09' 54.89"
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	調査期間	2019年 3月 13日 ～ 2019年 6月 28日		東経	132° 12' 29.14"
調査業者名	株式会社 福山コンサルティング 中四国支社 電話 082-502-8804	現代理人			ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 78.97m	使用機種	東邦DI-C			
総削孔長	70.00m	エンジン	ヤンマーNFD9		ポンプ	共立HF360
		主任技師	方角 北 270° 西 180° 上 90° 下 0° 方位 180° 0°			
		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 40°			







BP№.14-4



ボーリング柱状図

調査名 岩国地区地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo. 14-4

シートNo. 14-4

Header information table containing BPN, location (山口県玖珂郡和木町), date (2015.01.23), and other project details.

Main data table with columns for depth, lithology, rock type, and logs. Includes a large graph showing RQD and water level data.



岩盤ボーリング柱状図

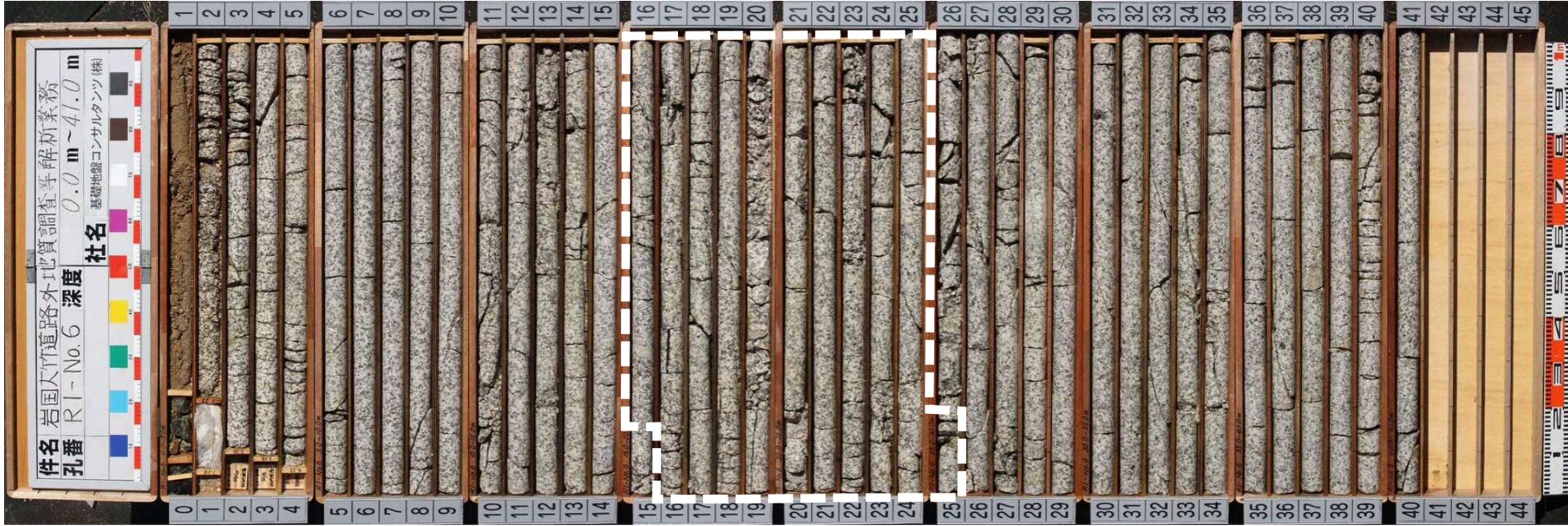
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

ボーリング名	R1-No.9	調査位置	山口県岩国市山手町3丁目10		北緯	34° 09' 49.8827"	
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2020年 8月 18日 ~ 2020年 8月 19日		東経	132° 12' 28.6164"	
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技師 登録番号:	コア鑑定者	地質調査技師 登録番号:	ボーリング責任者	地質調査技師 登録番号:
孔口標高	T.P. 45.42m	方位	北 270° 西 90° 東 180° 南	使用機種	YBM製 YSO-1WA	ポンプ	YBM製 GP-5
総削孔長	9.00m	傾斜	水平0° 鉛直90°	エンジン	ヤンマーディーゼル TF90V-E		

標尺 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	硬さ	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 最大コア長 RQD [%]	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験		削孔状況			
													N	深度-N値図	削孔速度 (cm/b)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ビット	給回転数 (rpm)
1	42.87	盛土・礫混じり砂	盛土・礫混じり砂	暗褐 ~ 暗灰					(100)	完新世	造成盛土。礫を不均一に混入する砂質土。礫は10~30mm程度。0.55m付近に14cmのコングリートを混入。	08/19 2.60	115	130	0.0	4	4	
2	41.98			淡茶灰	w4	D	IV c		(100)	白亜紀	固結状コアに採取。全体に脆く指圧で潰せる程度の硬さ。5°以下、の亀裂が発達。斜長石の多くは白色粘土化している。		86	140	0.0	4	4	
3	41.37			淡灰	w3		III		(100)	白亜紀	5~10cmの柱状コアに採取。ハンマー打診で容易に割れる。10°前後の亀裂が発達。		200	150	0.1			
4	39.95		花崗岩	淡灰	h1	C	II		(100)	白亜紀	10~47cmまでの柱状コアに採取。一部5cm前後の岩片状コア。ハンマー打診では濁った金属音を発し割れる。5.40m付近までやや褐色を帯びる。深度方向に硬弱となる。10°以下の亀裂が優勢。		W/DB					
5	39.17				w2		III b		(100)				8	19				
6	38.34						IV		(100)				8	19				
7	36.96						III		(100)				8	19				
8	36.61								(100)				8	19				
9	36.42								(100)				8	19				
10																		



岩盤ボーリング柱状図

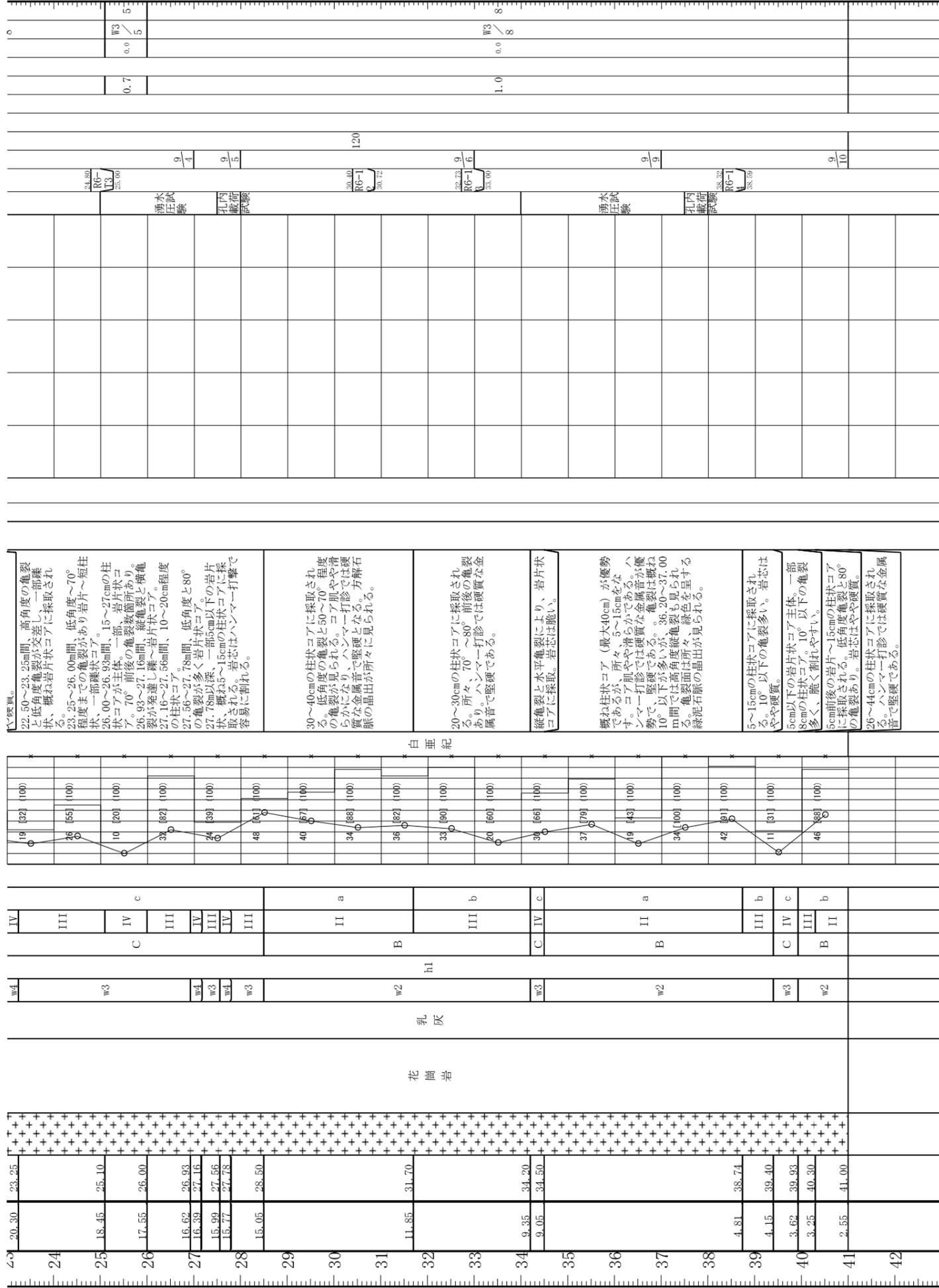
調査名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

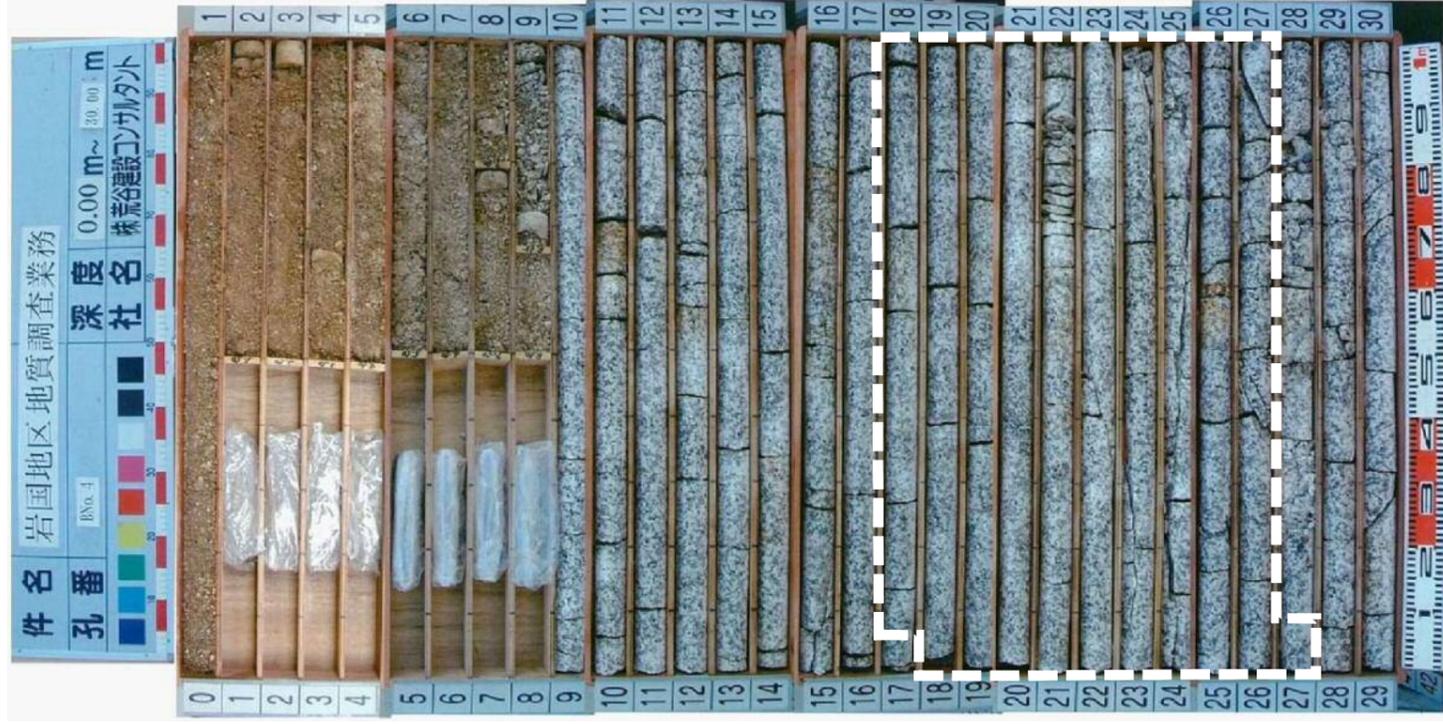
事業名 または 工事名 岩国大竹道路外地質調査等解析業務

調査目的及び調査対象 道路 トンネル・地下空洞

ボーリング名	R1-No.6	調査位置	山口県岩国市室の木台3丁目10	北緯	34° 09' 49.7031"
発注機関	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所	調査期間	2019年 8月 19日 ~ 2019年 9月 10日	東経	132° 12' 28.6291"
調査業者名	基礎地盤コンサルタンツ株式会社中国支社 電話 082-238-7227	現代理人	地質調査技士 登録番号: ア コ鑑定者 地質調査技士 登録番号:	ボーリング者 地質調査技士 登録番号:	
標高	T.P. 43.55m	使用機種	YBM製 YSO-1HA		
標高	41.00m	エンジン	ヤンマーディーゼル NFD-9	ポンプ YBM製 GP-5	

標尺	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色	風化の程度	硬さ	割れ目の形状	岩相	コア採取率 最大コア長 RQD [%]	地盤勾配 北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	方位 上 0° 下 180°	角 度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	削孔状況										
																	削孔速度 (cm/h)	削孔径・孔壁保護	コアチップ・ビット	給回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/min)	排水量 (L/min)				
1	43.32	盛土・砂	盛土・砂	茶褐	w4	D	VI d		100				表面8cmはアスファルト舗装、以 下は砂。理路直下の盛土、マサ起源の細 礫及びシルト混じり砂。 2.10mまで固結土状コア、以深5cm 以下の岩片状コア。指圧で崩せ る。 5~15cmの柱状コア。岩芯脆い。 概ね10°以下の亀裂が多く、一部 60°亀裂あり。 10°前後の亀裂発達。脆い。 5cm以下の岩片~20cmまでの柱状 コアに採取。5°程度の亀裂多 く、3.85m付近に65°亀裂あり。 ハンマー打撃で容易に割れる。 15~80cmの柱状コアに採取され る。ハンマー打撃では割った金属 音を発し割れる。 亀裂は10°以下が複数あり。 7.91~8.14m間は水平~70°の亀 裂が多く、岩片状コアでやや脆 い。 9.35m付近に85°の亀裂あり。	08/20 1.80	50 1.05	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0	
2	41.81	盛土・砂	盛土・砂	黄灰	w3	V	V		100					08/21 08/21	50 2.00	2.10	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
3	40.82	盛土・砂	盛土・砂	帯黄灰	w3	IV	IV		100					08/21 08/21	50 3.00	3.08	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
4	39.97	盛土・砂	盛土・砂	帯黄灰	w3	IV	IV		100					08/21 08/21	50 4.00	4.05	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
5	38.22	盛土・砂	盛土・砂	黄灰	w3	III	III		100					08/21 08/21	50 5.00	5.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
6	35.64	花崗岩	花崗岩	乳灰	w4	C	II b		100					08/21 08/21	50 6.17	6.17	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
7	35.41	花崗岩	花崗岩	乳灰	w4	IV c	IV c		100					08/21 08/21	50 8.14	8.14	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
8	33.66	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w3	II b	II b		100					08/21 08/21	50 9.89	9.89	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
9	32.45	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	D	IV c		100					08/21 08/21	50 11.10	11.10	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
10	31.79	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	III b	III b		100					08/21 08/21	50 12.76	12.76	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
11	29.24	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	C	III		100					08/21 08/21	50 14.31	14.31	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
12	28.55	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	II	II		100					08/21 08/21	50 15.00	15.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
13	25.03	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	III	III		100					08/21 08/21	50 16.52	16.52	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
14	24.35	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	D	V		100					08/21 08/21	50 18.00	18.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
15	23.35	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	II	II		100					08/21 08/21	50 19.20	19.20	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
16	21.55	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	C	IV		100					08/21 08/21	50 20.20	20.20	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
17	21.30	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	II	II		100					08/21 08/21	50 21.25	21.25	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
18	21.05	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	IV	IV		100					08/21 08/21	50 22.50	22.50	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
19	20.30	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	III	III		100					08/21 08/21	50 23.25	23.25	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
20	20.30	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	IV	IV		100					08/21 08/21	50 24.00	24.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
21	21.55	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	II	II		100					08/21 08/21	50 25.00	25.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
22	21.30	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	C	IV		100					08/21 08/21	50 26.00	26.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
23	21.05	花崗岩	花崗岩	帯黄灰	w4	III	III		100					08/21 08/21	50 27.00	27.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0
24	20.30	花崗岩	花崗岩	乳灰	w3	IV	IV		100					08/21 08/21	50 28.00	28.00	1.22	1.22	80	W3 0.0 35	35	114 / E2	W/ MC	0.5	0.0	0.0	0.0





ボーリング柱状図

調査名 岩国地区地質調査業務

ボーリングNo. []

事業・工事名

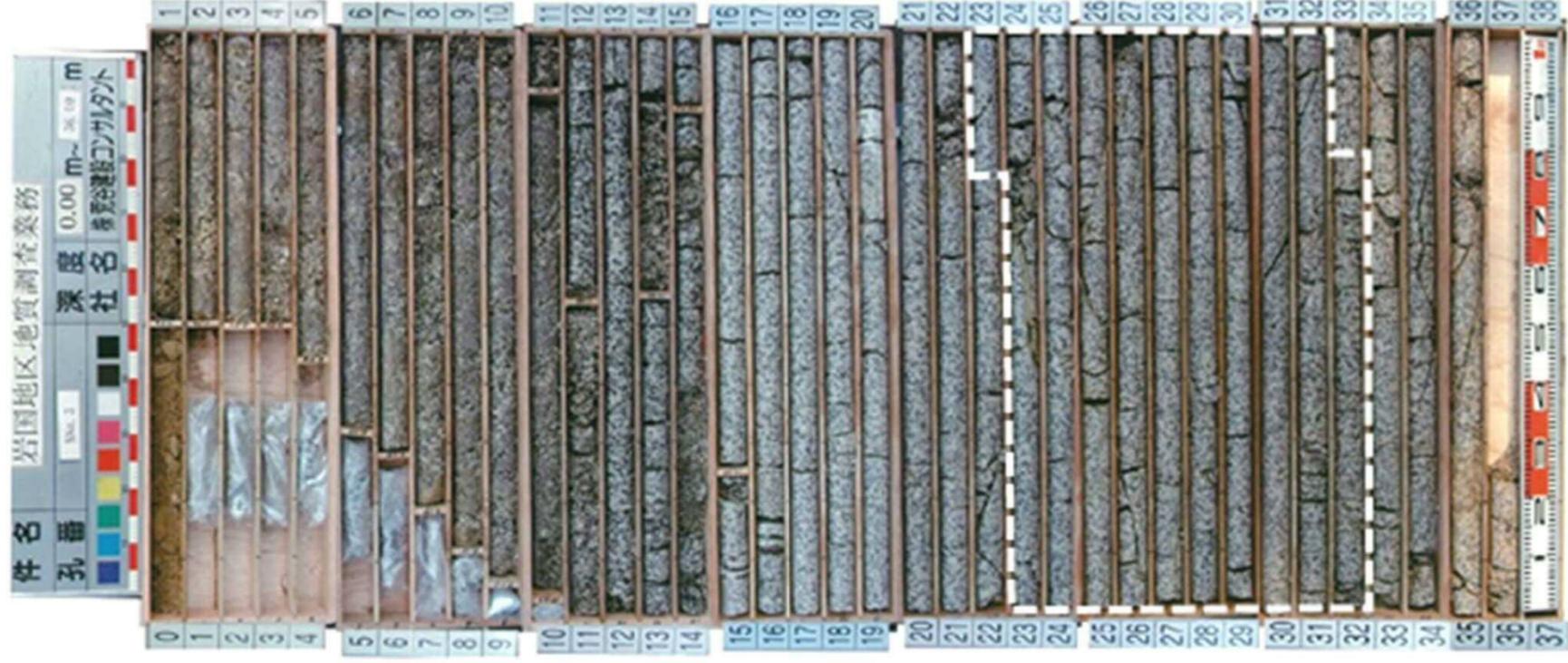
シートNo.

ボーリング名	BNo.4		調査位置	山口県岩国市山手町三丁目(No.95+87.61L-14.21)	北緯	34° 9' 37.7"
発注機関	国土交通省中国地方整備局山口工事事務所		調査期間	13年8月21日～13年8月28日	東経	132° 12' 36.9"
調査業者名	(株)荒谷建設コンサルタンツ 電話(082-292-5481)		現代理人	ボーリング責任者		
孔口標高	GH=45.42m		試験機	東邦地下工機製D0-D		
総掘進長	30.00m		エンジン	ヤママーNFAD-8 ポンプ 東邦地下工機製BG-3C		

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬度	コア形状	割れ目の状態	変質	記	岩級区分	コア採取率 (%)		孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値		(P~QN値~深度) 図 □: ルジオン値 ○: 換算ルジオン値 ◎: 限界圧力	原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況
											最大コア長	RQD [%]		値	値				
1	37.62	7.80	深褐色	淡黄褐色	E	VI	d	6	中～粗砂岩主体とし、径2～5mmの塊状を少量含有するマサ土による盛土。	(199)	0	7.45	4	1.45	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
2	36.77	8.65		淡黄褐色	D	d-o	6			(199)	2	7.45	2	1.75	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
3	36.42	9.00		淡黄褐色	III	II	6			(199)	2	7.45	2	2.15	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
4	36.07	9.35		白灰	B	II	6			(199)	3	7.45	3	2.45	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
5	34.87	10.55		白灰	B-c	III	6			(199)	3	7.45	3	4.15	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
6					III	II	6			(199)	3	7.45	3	4.45	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
7					III	II	6			(199)	3	7.45	3	5.15	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
8	31.72	13.70			B	II	6			(199)	4	7.45	4	5.45	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
9	31.37	14.05			B	II	6			(199)	4	7.45	4	6.15	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
10	30.42	15.00			B	II	6			(199)	4	7.45	4	6.45	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
11	29.92	15.50			B	II	6			(199)	4	7.45	4	7.15	(4.2)	8/22	86	5	無水 / 無水
12					B	II	6			(199)	32	8/24	32	8.15	(4.2)	8/24	86	5	無水 / 無水
13					B	II	6			(199)	60	8/27	60	9.00	(4.2)	8/27	86	5	無水 / 無水
14					B	II	6			(199)	60	8/27	60	9.00	(4.2)	8/27	86	5	無水 / 無水
15					B	II	6			(199)	60	8/27	60	9.00	(4.2)	8/27	86	5	無水 / 無水
16					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
17					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
18					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
19					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
20					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
21					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
22					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
23					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
24					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
25					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水
26					B	II	6			(199)	0	8/23	0	0	(4.2)	8/23	86	5	無水 / 無水

調査業者名 (株) 荒谷建設コンサルタント 主任技師 北0° 東 270° 西 90° 南 180° 青
 電話(082-292-5481) 地盤勾配 水平0° 鉛直90°
 調査業者名 コアア 鑑定者 ボーリング者 責任者
 孔口標高 GH=45.42m 角 180° 上 90° 下 0° 度
 総掘進長 30.00m 使用機種 東邦地下工機製D0-D

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験	原位試験 ()	室内試験 ()	掘進状況
1	37.62	7.90	砂	凝灰岩	淡黄褐	E	VI	ε		1.15	(499)	8/23	4				掘進状況
2	36.77	8.65	砂	凝灰岩	淡黄褐	D	IV	δ		1.75	(499)	8/24	2				掘進状況
3	36.42	9.00	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		2.15	(499)	8/24	2				掘進状況
4	36.07	9.35	砂	凝灰岩	淡黄褐	II	II	β	中～粗砂を主体とし、径2～5mmの礫分を少量含む。ルーズなマサ土による盛土。	3.15	(499)	8/24	3				掘進状況
5	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		3.45	(499)	8/24	3				掘進状況
6	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		4.15	(499)	8/24	3				掘進状況
7	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		4.45	(499)	8/24	3				掘進状況
8	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		5.15	(499)	8/24	3				掘進状況
9	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		5.45	(499)	8/24	3				掘進状況
10	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		6.15	(499)	8/24	3				掘進状況
11	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		6.45	(499)	8/24	3				掘進状況
12	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		7.15	(499)	8/24	3				掘進状況
13	34.92	10.50	砂	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		7.45	(499)	8/24	3				掘進状況
14	31.72	13.70	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		8.15	(499)	8/24	32				掘進状況
15	31.37	14.05	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		8.45	(499)	8/24	60				掘進状況
16	30.42	15.00	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε		9.00	(499)	8/27	90				掘進状況
17	29.92	15.50	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
18	25.67	19.75	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
19	24.57	20.85	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
20	23.77	21.65	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
21	23.42	22.00	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
22	22.42	23.00	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
23	19.42	25.00	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
24	19.02	25.40	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
25	18.47	25.95	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
26	17.57	26.85	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
27	15.72	28.70	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況
28	15.42	30.00	凝灰岩	凝灰岩	淡黄褐	III	III	ε			(499)	8/27	90				掘進状況



ボーリング柱状図

調査名 岩国地区地質調査業務

ボーリングNo. 3

事業・工事名

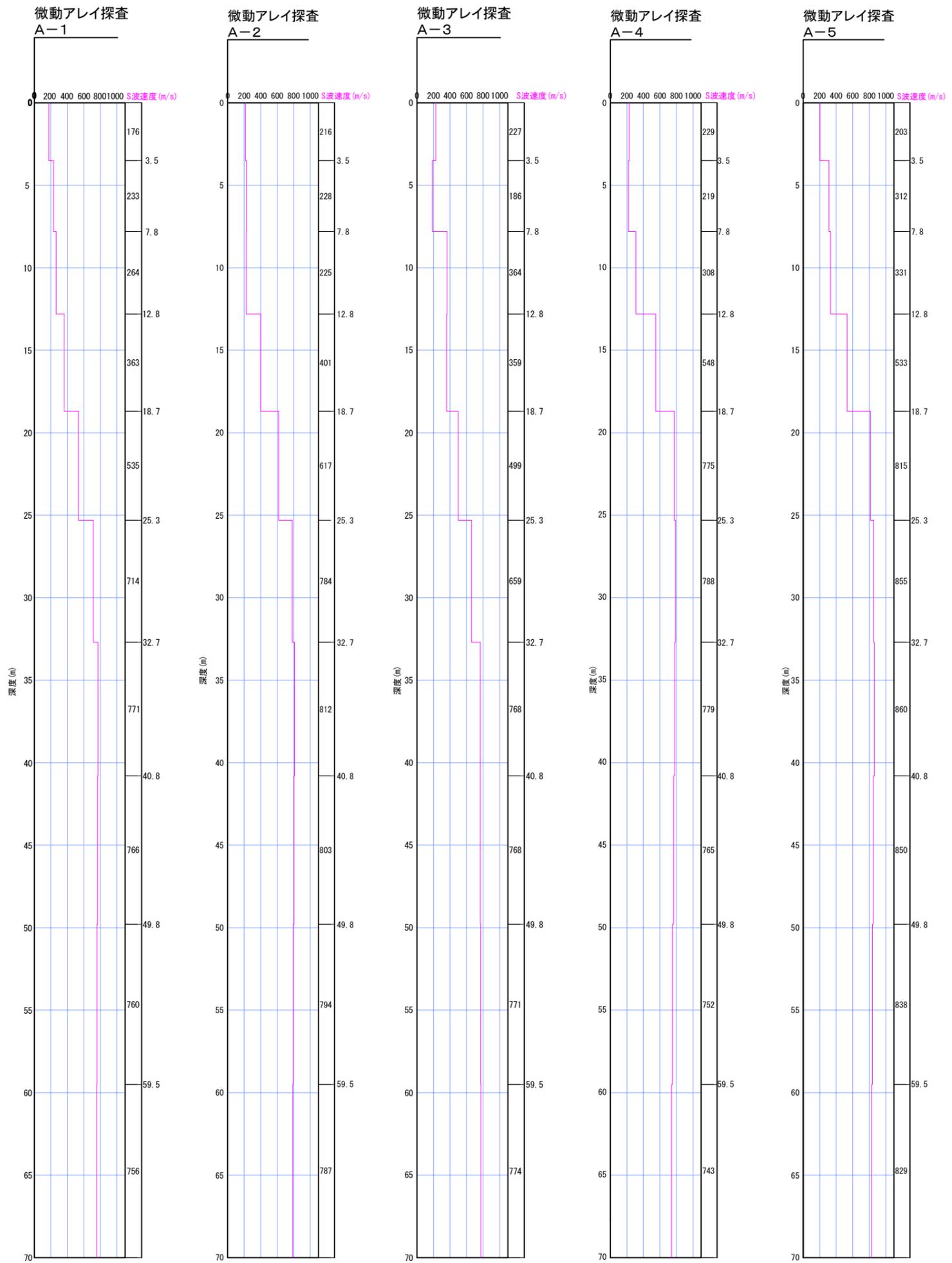
シートNo.

ボーリング名	BNo. 3	調査位置	岩国市山手三丁目(No. 95+84 R-16)	北緯	34° 9' 37.7"
発注機関	国土交通省山口工事事務所	調査期間	13年 11月 20日 ~ 13年 11月 29日	東経	132° 12' 35.4"
調査業者名	(株) 高谷建設コンサルタンツ 電話 (082-292-5482)	現場代理人	ボーリング責任者		
孔口標高	51.12m	主任技師	コア鑑定者		
総掘進長	36.00m	使用機種	東邦D1B-58		
		エンジン	ヤママ-NFD12		
			ポンプ		BG-3

標尺 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬度	割れ目の形状	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(N) 値	(標準貫入) 試験	原位試験 ()	室内試験 ()	掘進状況
50.62	0.30	シルト質粘土						表土層								
47.12	4.00	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しく土砂状である 指圧にて容易に崩れる	23	(100)	1.15	23	7.9(9)			
40.22	10.90	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しくマサ状を呈す	44	(100)	2.15	50	6.4(9)	2.15		
39.57	11.55	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しくマサ状を呈す	50	(100)	2.45	29	6.4(9)	2.45		
37.57	13.55	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しくマサ状を呈す	60	(100)	3.15	50	6.4(9)	6.10		
36.22	14.90	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しくマサ状を呈す	60	(100)	3.45	17	6.4(9)	6.28		
35.87	15.25	花崗岩	淡褐色	E	V	d	e	風化著しくマサ状を呈す	80	(100)	4.15	9	6.4(9)	6.10		
29.37	21.75	花崗岩	淡褐色	B	III	b	β	亀裂多く低角方向に発達	80	(100)	4.44	9	6.4(9)	6.10		
28.72	22.40	花崗岩	淡褐色	B	III	b	β	亀裂多く低角方向に発達	80	(100)	4.44	9	6.4(9)	6.10		
27.67	23.45	花崗岩	淡褐色	B	III	b	β	亀裂多く低角方向に発達	80	(100)	4.44	9	6.4(9)	6.10		
26.12	25.00	花崗岩	淡褐色	B	III	b	β	亀裂多く低角方向に発達	80	(100)	4.44	9	6.4(9)	6.10		

(m)	(m)	(m)	図	分	調	軟	状	態	化	質	事	[%]	分	日	値	N 値	時	保	分	分
50.62	0.50		シルト混じり 泥状							表土層				11/21			100	66	100	0
47.12	4.00		花崗岩	淡褐灰	E	V	d	e		風化著しく土砂状である 指圧にて容易に崩れる				11/21	23	23	100	66	100	0
40.22	10.90		花崗岩	淡灰	D	V	d	e		風化著しくマヤ状を呈す				11/21	44	44	100	66	100	0
39.57	11.55		花崗岩	淡灰	C	IV	c	e		短棒状コブ コブ径1~9cm マヤへの軽打により崩れる				11/21	50	50	100	66	100	0
37.57	13.55		花崗岩	淡灰	C	IV	c	e		短棒状コブ コブ径1~3cm コブ径2~7cm				11/21	50	50	100	66	100	0
36.22	14.90		花崗岩	淡灰	B	II	b	a		10~20cmの棒状コブ コブは硬質である 亀裂は水平方向に発達 亀裂面は密着している Cl-18.65~18.85mは亀裂面に粘土を 挟む				11/22	90	90	100	66	100	0
35.87	15.25		花崗岩	淡灰	B	II	b	a						11/22	90	90	100	66	100	0
29.37	21.75		花崗岩	淡灰	B	II	b	a		亀裂は水平~低角方向に発達				11/23	90	90	100	66	100	0
28.72	22.40		花崗岩	淡褐灰	B	II	b	a		亀裂は水平~低角方向に発達				11/23	90	90	100	66	100	0
27.67	23.45		花崗岩	淡灰	B	II	b	a		短棒状~棒状コブである 亀裂は水平方向に発達 Cl-23.45~23.60mは亀裂面に粘土を 挟む				11/23	90	90	100	66	100	0
26.12	25.00		花崗岩	淡灰	B	II	b	a						11/23	90	90	100	66	100	0
20.12	31.00		花崗岩	淡灰	B	II	b	a		10~30cmの棒状コブ コブは硬質である 亀裂は水平方向がほとんどで一部低角 方向に発達				11/24	90	90	100	66	100	0
16.12	35.00		花崗岩	淡褐灰	B	II	b	a		10~20cm程度の棒状コブ 亀裂間隔は10cm程度 コブは硬質である 亀裂は水平~低角方向に発達				11/26	90	90	100	66	100	0
15.12	36.00		花崗岩	淡褐	C	III	c	a		短棒状~棒状コブである コブは硬質である 亀裂面は密着しており お粥状となっており お粥状である				11/26	90	90	100	66	100	0

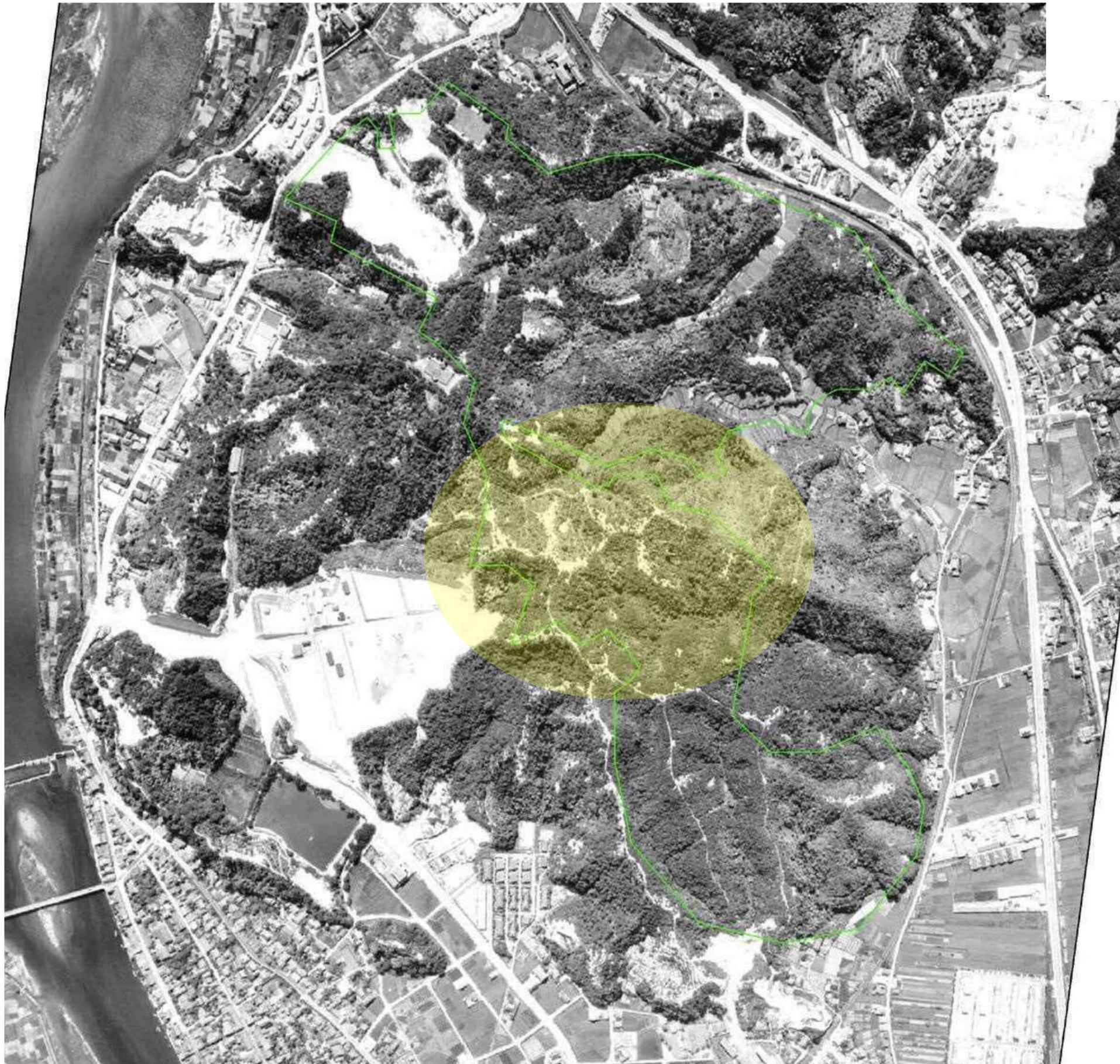
【微動アレイ探査結果】



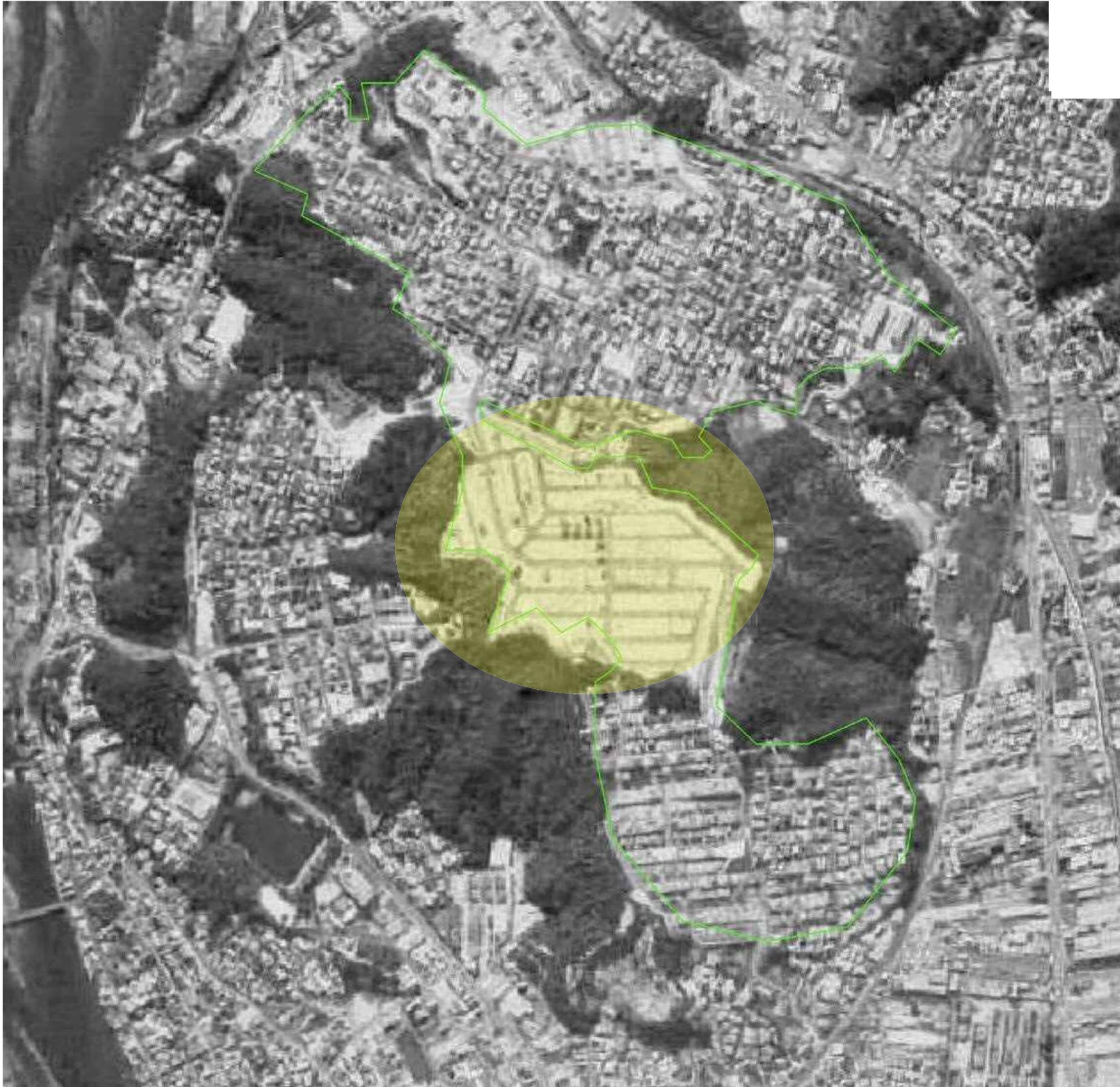
岩国市都市計画図

昭和45年当時

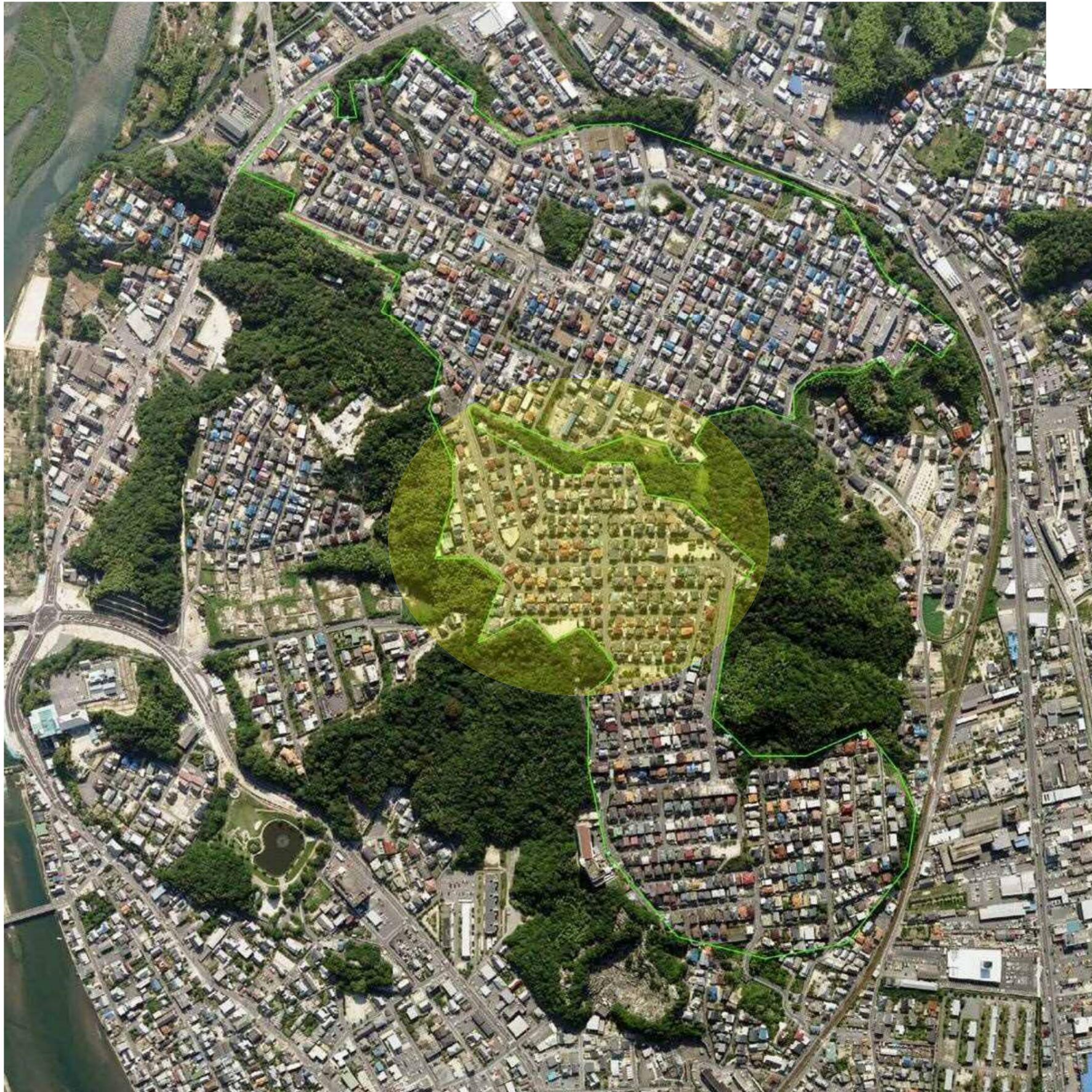




出典「地図・空中写真閲覧サービス, 国土地理院, 1962年(昭和37年)撮影」



出典「地図・空中写真閲覧サービス, 国土地理院, 1984年(昭和59年)撮影」



出典「地図・空中写真閲覧サービス, 国土地理院, 2008年(平成20年)撮影」



空中写真 USA-R527-1-35 拡大 (1947年(昭和22年)撮影)
国土地理院 地図・空中写真閲覧サービス より ダウンロード



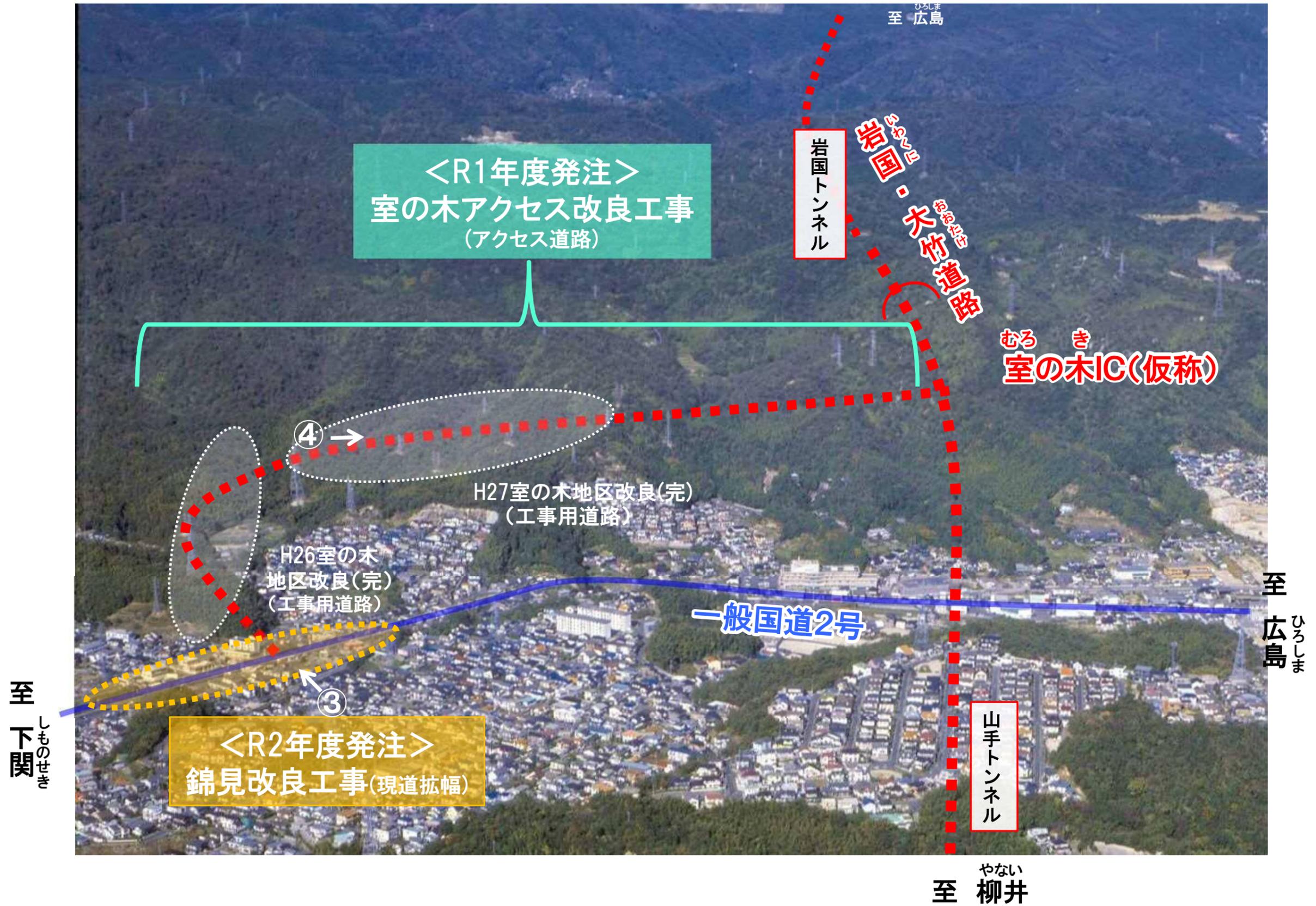
和木地区施工状況（岩国トンネル付近）



写真①



写真②



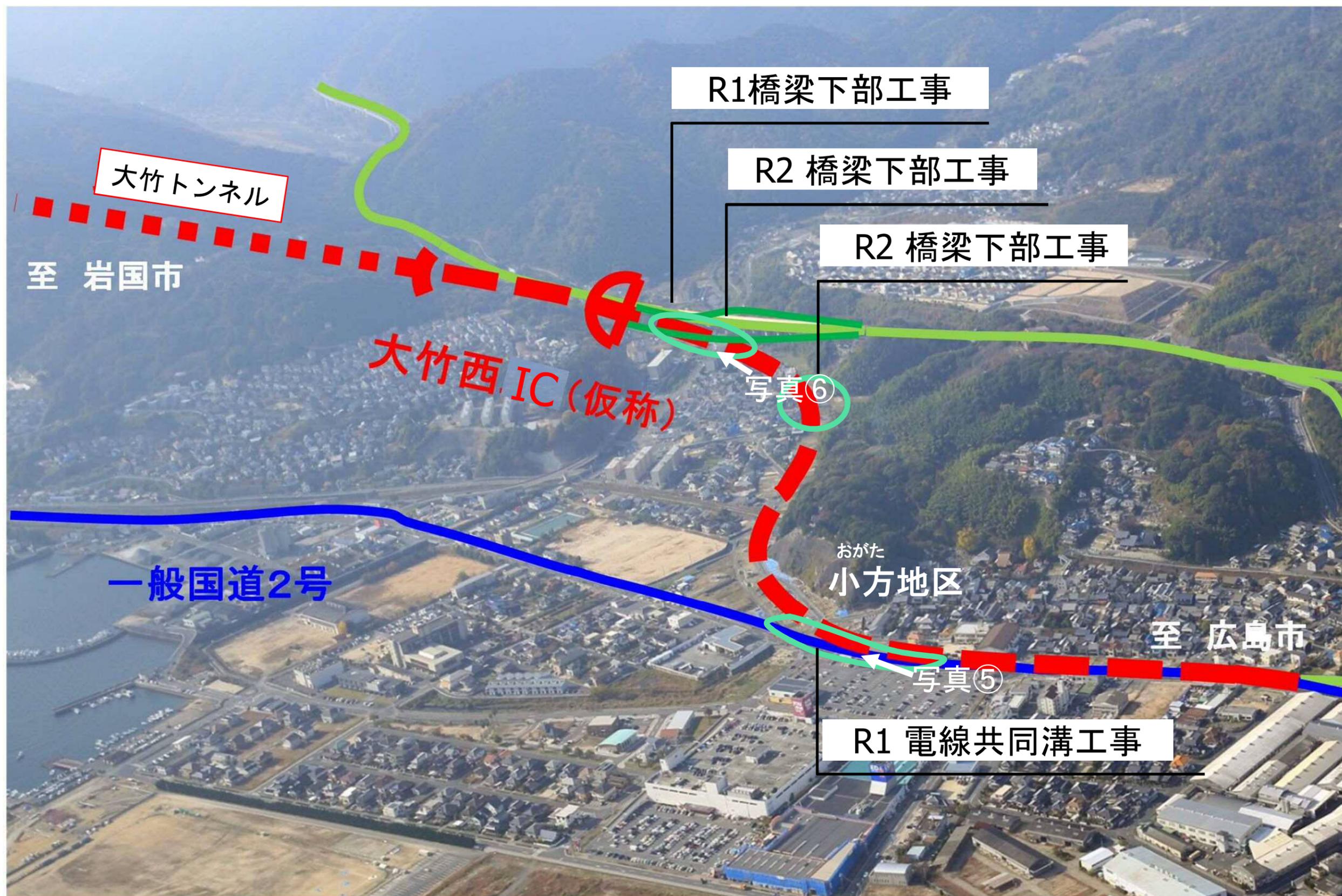
室の木地区施工状況（室の木アクセス道路）



写真③



写真④



小方・御園地区施工状況（国道2号付近及び御園高架橋）



写真⑤



写真⑥